

IPSOS LGBT+ プライドレポート2024

26カ国を対象としたイプソ
グローバルアドバイザー調査

2024年6月



目次



この文書はインタラクティブです。
リンクをクリックして調査結果にジャンプしてください。

1

サマリー

2

LGBT+への態度と
認知

3

LGBT+の権利と保護

4

同性結婚と子育て

5

LGBT+の祝福と支援

6

性的指向と性自認

7

調査手法

サマリー



主な調査結果



若年層はLGBT+であると自認する割合が高い

Z世代*の17%(26か国の平均)は、レズビアン、ゲイ、ホモセクシャル、バイセクシャル、パンセクシャル、オムニセクシャル、無性愛者、トランスジェンダー、ノンバイナリ、ジェンダーノンコンフォーミング、ジェンダーフルイド、および/または男性または女性以外であると自認しています。これに対し、ミレニアル世代では11%、X世代では6%、ベビーブーム世代では5%となっています。



Z世代の女性は、Z世代の男性よりも、LGBT+の権利や保護に関する権利を支持する傾向がある

たとえば、Z世代の女性の78%に対して、Z世代の男性は63%が、トランスジェンダーの人は、雇用、住宅、レストランや店舗などの企業へのアクセスに関する差別から保護される必要があることに同意しています。



同性婚に対する支持は26カ国間で大きく異なる

スウェーデンでは86%が同性婚の合法化/承認に賛成しているのに対し、トルコでは37%となっています。同性カップルが異性カップルと同様に子どもを養子に迎える権利を持つことに対する支持も国によって異なり、タイでは82%、トルコでは29%となっています。



年齢が高いほど、ポップカルチャーにおけるLGBT+の表現を増やすことにそれほど熱心ではない

Z世代の43%が、テレビ、映画、広告でLGBTキャラクターを増やすことを支持していますが、ベビーブーム世代では27%です。



5人に2人強が、LGBT+の人々の平等を積極的に推進している企業/ブランドを支持している

このマーケティング戦略に対する支持は、23か国**平均で、2021年の世界的なプライド調査以降、5ポイント低下して44%となっています。



トランスジェンダーのアスリートが、自分で認識する性別に基づいて競技することに同意する人は、3人に1人未満

2024年に、出生時に決定された性別ではなく、自らが認識する性別に基づいて競技するトランスジェンダーのアスリートに対する支持は、27%（2021年から5ポイント減、23か国平均）とやや減少しています。

*Z世代(1996～2012年生まれ)、ミレニアル世代(1980～1995年生まれ)、X世代(1966～1979年生まれ)、ベビーブーム世代(1945～1965年生まれ)

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。





色彩豊かな暮らし

1969年のストーンウォールの反乱は、LGBT+(レズビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、プラス)コミュニティに公然と属するという現実を変え始める転機となりました。

それでも、ベビーブーム世代*やX世代の多くは、カミングアウトしないことがより現実的で安全な選択だった時代に育ちました。若い世代、つまりZ世代、そして一部の国ではミレニアル世代も、毎年プライド月間にカミングアウトを喜びをもって祝う時代に生きています。しかし、それはどこでも当てはまるわけではなく、国によってはLGBT+であることを公言すると投獄されたり、殺されたりすることもあります。

しかし、最近のイプソスジェネレーションズレポート2024で指摘されているように、保守的な国であっても、Z世代はおそらく[最初の真にグローバルな世代](#)であり、オンライン上のインフルエンサーから現実世界の両親まで、セクシャリティやジェンダーに対する考え方に影響を与えながら成長してきた可能性が高いと言えます。

この大きな社会的変化は、イプソスの世界規模の世論調査にも反映されているようです。世論調査では、Z世代(26か国平均17%)が

LGBT+コミュニティの一員であると自認する世代として最も多く、次いでミレニアル世代が11%となっています。若い世代が年を重ねてもLGBT+であると自認し続け、長期的な恋愛関係を築く人が増えるかどうかはまだ分かりません。

上の世代は、Z世代に比べて、LGBT+コミュニティの一員であると自認する可能性が大幅に低く、レズビアン、ゲイ、ホモセクシャル、バイセクシャル、パンセクシャル、オムニセクシャル、無性愛者、トランスジェンダー、ノンバイナリ、ジェンダーノンコンフォーミング、ジェンダーフルイド、および/または男性または女性以外であると自認している回答者は、X世代ではわずか6%、ベビーブーム世代では5%となっています。

*Z世代(1996~2012年生まれ)、ミレニアル世代(1980~1995年生まれ)、X世代(1966~1979年生まれ)、ベビーブーム世代(1945~1965年生まれ)。



変化のための競争はない

ほぼ半数（23カ国平均で49%**）が、2024年にはスポーツチームでレズビアン、ゲイ、バイセクシャルであることを公言するアスリートを支持すると答えています（2021年から5ポイント減）。

今年7月と8月にパリで開催される2024年夏季オリンピックでは、トランスジェンダーのアスリートたちはより厳しい規則に直面することになっていますが、彼らに対する支援は依然として大幅に減少しています。

トランスジェンダーのアスリートがどの性別カテゴリーで競技できるかを決定する枠組みが[2021年に導入されました](#)。

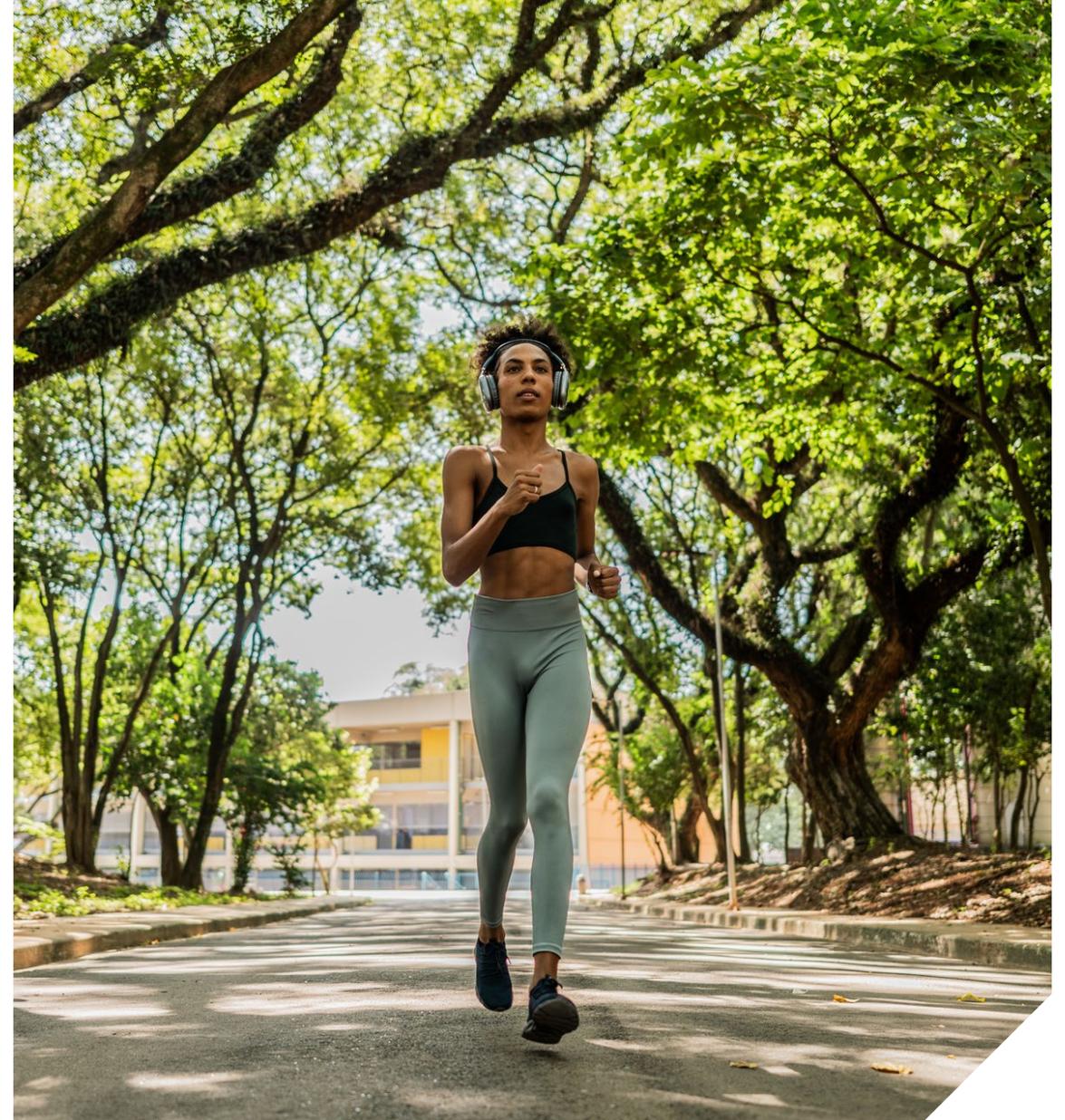
この新たな枠組みは、この問題に関する世界的な意見と概ね一致しているようです。イプソスの最新の世論調査では、トランスジェンダーのアスリートが出生時に決定された性別ではなく、自分で認識している性別に基づいて競技することを4人に1人（23カ国平均で27%）が支持していることが判明しており、これは2021年の32%の支持から若干減少しています。

23カ国全体で、女性の支持率は2021年から9ポイント低下して2024年には30%となり、男

性では3ポイント低下して23%となっています。アルゼンチン（30%、-18ポイント）、スペイン（37%、-13ポイント）、オランダ（24%、-13ポイント）、カナダ（21%、-12ポイント）など、一部の国では過去3年間で支持が大幅に低下しています。

一方、オリンピック開催国フランスでの支持率は現在32%で、2021年の34%からほとんど変わっていません。また、タイ（2021年からプライド調査に新規参加）は、2024年に調査された26か国のうち、半数以上（53%）が現在自認する性別に基づいて競技するトランスジェンダーのアスリートを支持している唯一の国です。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいています。





ギャップに注意してください

若い男性と女性は共に成人を迎えつつあるが、いくつかの社会問題に関しては彼らの意見は大きく異なっています。

Z世代*女性の3人に2人(26か国平均で65%)は、同性カップルの結婚が合法的に認められるべきだと考えていますが、Z世代男性では45%です。養子縁組に関しても同様の違いがあり、Z世代女性の74%が同性カップルが異性カップルと同じように子供を養子に迎える権利を持つことを支持しているのに対し、Z世代男性は59%となっています。

また、Z世代女性の78%とZ世代男性の63%が、トランスジェンダーの人々は雇用、住宅、レストランや店舗などのビジネスへのアクセスにおいて差別から保護されるべきであることに同意しています。

注目すべきことに、最新の[イプソス平等指数調査2024](#)では、いくつかのトピックにおいて、Z世代の女性と男性の意見が大きく隔たっていることも判明しました。

一方、親の同意があれば、トランスジェンダーのティーンエイジャーが性適合ケアを受けることが認められるべきかどうかについては、若い女性と他の世代の間で意見が分かれており、Z世代女性の63%とミレニアル世代女性の62%がこれに賛成しているのに対し、Z世代とX世代の男性では両グループとも51%となっています。

トランスジェンダーの人々が、自らが自認する性別に対応する男女別施設（公衆トイレなど）の使用を許可されるべきかどうかという質問に関しては、若い女性とそれ以外の人々の間にも若干の違いがあり、若い女性のほぼ5人に3人（Z世代女性の59%、ミレニアル世代女性の58%）がこれに賛成しているのに対し、全体平均は51%となっています。

*Z世代(1996～2012年生まれ)、ミレニアル世代(1980～1995年生まれ)、X世代(1966～1979年生まれ)、ベビーブーム世代(1945～1965年生まれ)



ソーシャルメディアの現実と 本当の現実

プライド月間中、いくつかの国ではLGBT+コミュニティを支援する虹色の広告が溢れています。

ソーシャルメディアやタブロイド紙のニュースサイトを少しでもスクロールしていると、ほとんどの人がこの件で大騒ぎしているという印象を受けるかもしれません。実際にはそうではないようです。

LGBT+の人々の平等を積極的に推進する企業やブランドに対する支持は、過去数年間で世界的に低下しましたが（現在、2024年には23か国**の平均で44%、2021年には49%）、急激に落ち込んだわけではありません。そして2024年には、3人に1人強がこのテーマに関して中立的であり、36%がLGBT+コミュニティの平等を推進するブランドを支持も反対もしないと答え、9%がこのマーケティング活動に「反対する」と答え、わずか10%がこのマーケティング活動に「強く反対する」と答えています。

逆に言えば、若者のほとんどは、他人が十分に目覚めていないと常に非難しているように見えるかもしれません。

しかし、現実はより微妙です。2024年のZ世代全体のうち37%、ミレニアル世代のうち31%だけが、LGBTの人々に対する偏見を持つ人に対して声を上げたことがあると答えており、Z世代の女性（45%）がそうしたことがあると答える割合が圧倒的に高いグループとなっています。

*Z世代(1996~2012年生まれ)、ミレニアル世代(1980~1995年生まれ)、X世代(1966~1979年生まれ)、ベビーブーム世代(1945~1965年生まれ)。

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいています。



これが意味することは…



政府

プライド月間を祝う明るく楽しいイベントは、多くの国のリベラルな街や都市では今では当たり前になっている

しかし、年に一度、一ヶ月間、色とりどりの旗が大量に掲げられたからといって、LGBT+コミュニティの真の平等な権利を求める戦いが勝利したわけではありません。

一方では、大多数（23か国で71%**、2021年から3ポイント減）が同性カップルの結婚/関係の合法化を認めるべきだと同意しており、62%（2ポイント減）が同性カップルには異性カップルと同じように子どもを養子に迎える権利があるべきだと考えていることがわかりました。

それほど昔のことではありませんが、伝統的な核家族（結婚した男性と女性、そして2人の子供）以外の家族構成は、嫌われ、ひそひそと語られることが多かったのです。時代は変わりました。

2013年までのイプソスの世論調査では、3人に

1人（15か国で33%）が同性婚に対する意見が2008年とは異なっていると答えました。ここ数十年で同性婚を合法化する国が増え、支持も安定し、世界レベルでは現在の支持レベルと11年前の支持レベルの間に統計的な差はなくなってきています。

しかし、2024年になっても不安感は根強く残っており、LGBTの人々が公共の場でキスや手をつないだりといった愛情表現をすることを支持する人は半数以下（26か国平均で40%）で、反対する人は4人に1人近く（23%）となっています。また、LGBTの人々が性的指向や性自認について誰に対してもオープンにすることに51%が賛成している一方で、15%がこれに反対しています。

トランスジェンダーの問題はより多くの反対に遭遇する傾向があります。

半数（51%）は、トランスジェンダーの人々が自らが自認する性別に対応する男女別施設（

公衆トイレなど）を利用できるようにすべきだと同意している一方で、3人に1人（34%）はこれに反対しています。また、半数（50%）は、パスポートなどの政府発行の文書には、どちらにも該当しない人のために「男性」と「女性」以外の選択肢を含めるべきだと同意しているが、36%はこれに反対しています。

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいています。

これが意味することは…



*Z世代(1996~2012年生まれ)、ミレニアル世代(1980~1995年生まれ)、X世代(1966~1979年生まれ)、ベビーブーム世代(1945~1965年生まれ)

ブランド

ブランドは社会変革の提唱者になるべきか？

近年、人種差別からトランスジェンダーの権利まで、多様性、公平性、包括性（DEI）のさまざまな問題に企業が注力していることを批判する声もあります。

昨年、若い視聴者にリーチするために雇われたトランスジェンダーのインフルエンサーによるソーシャルメディアの投稿に反応して、アメリカの有名なビールブランドのボイコットが起こった後、この「目覚めのラッシュ」は最高潮に達したようです。そのビール会社の株価と売上は、予想せぬ大きな打撃を受けました。

しかし、これは極端な例であり、数字を見ると、2024年にLGBTの人々の平等を積極的に推進する企業やブランドに強く反対する人が圧倒的多数（26カ国平均でわずか10%、米国では13%）いるわけではないが、圧倒的な支持があるわけでもないことがわかります。

現在、半数近く（26カ国平均で45%）がLGBTの人々の平等を積極的に推進する企業やブランドを支持しており、その割合はトルコのわずか22%からタイの71%まで幅があります。そして現在、LGBTの人々の平等を積極的に推進する企業やブランドを支持する人よりも反対する人が多い国は、トルコと韓国の2カ国だけです。

テレビ、映画、広告にLGBTキャラクターをもっと登場させたいと望む人はさらに少なく、現在26カ国平均でわずか34%となっています。

若者は皆、画面上の多様性をもっと望んでいるというのが定説ですが、イプソスの世論調査では、この問題に関してもZ世代*の男性と女性の意見が分かれていることがわかりました。

Z世代女性の58%がLGBTの人々に対する平等を積極的に推進する企業やブランドを支持しているのに対し、Z世代男性では37%しか賛成

していません。テレビ、映画、広告でLGBTキャラクターが増えることについても同様で、Z世代の女性では51%が支持しているのに対し、Z世代の男性ではわずか33%です。

新規顧客を獲得することは、時には既存顧客を失うことを意味します。企業は、自社ブランドを特定の社会問題と結び付ける前に、データに基づいたより深い考察を行い計算する必要があるということです。



LGBT+への態度と認知



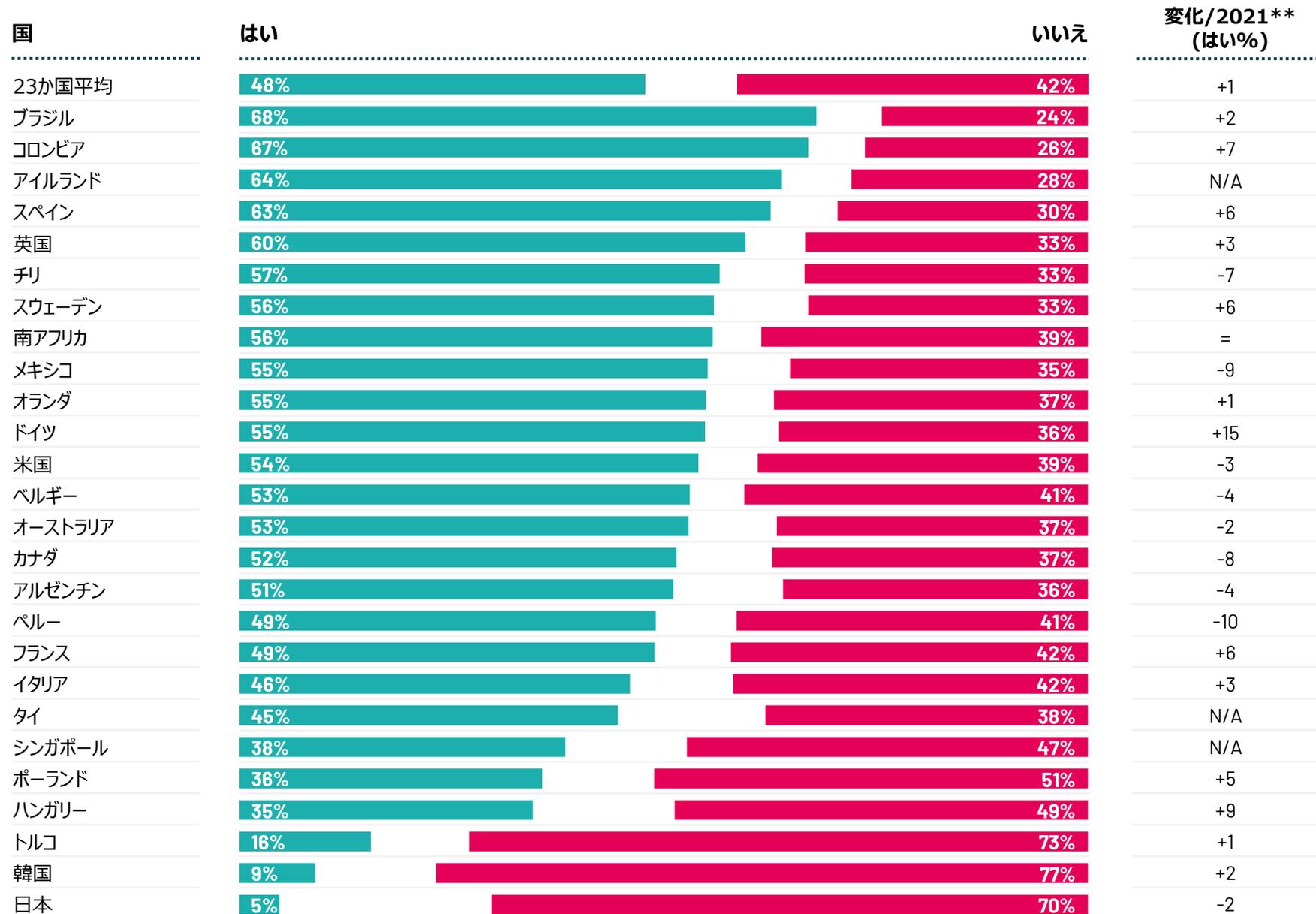
国別： LGBT+の認知度

Q.あなたの親類、友人、同僚の中に、以下に当てはまる人はいますか？

ゲイまたはレズビアン/同性愛者

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23か国で15,569人を対象に調査が行われた。



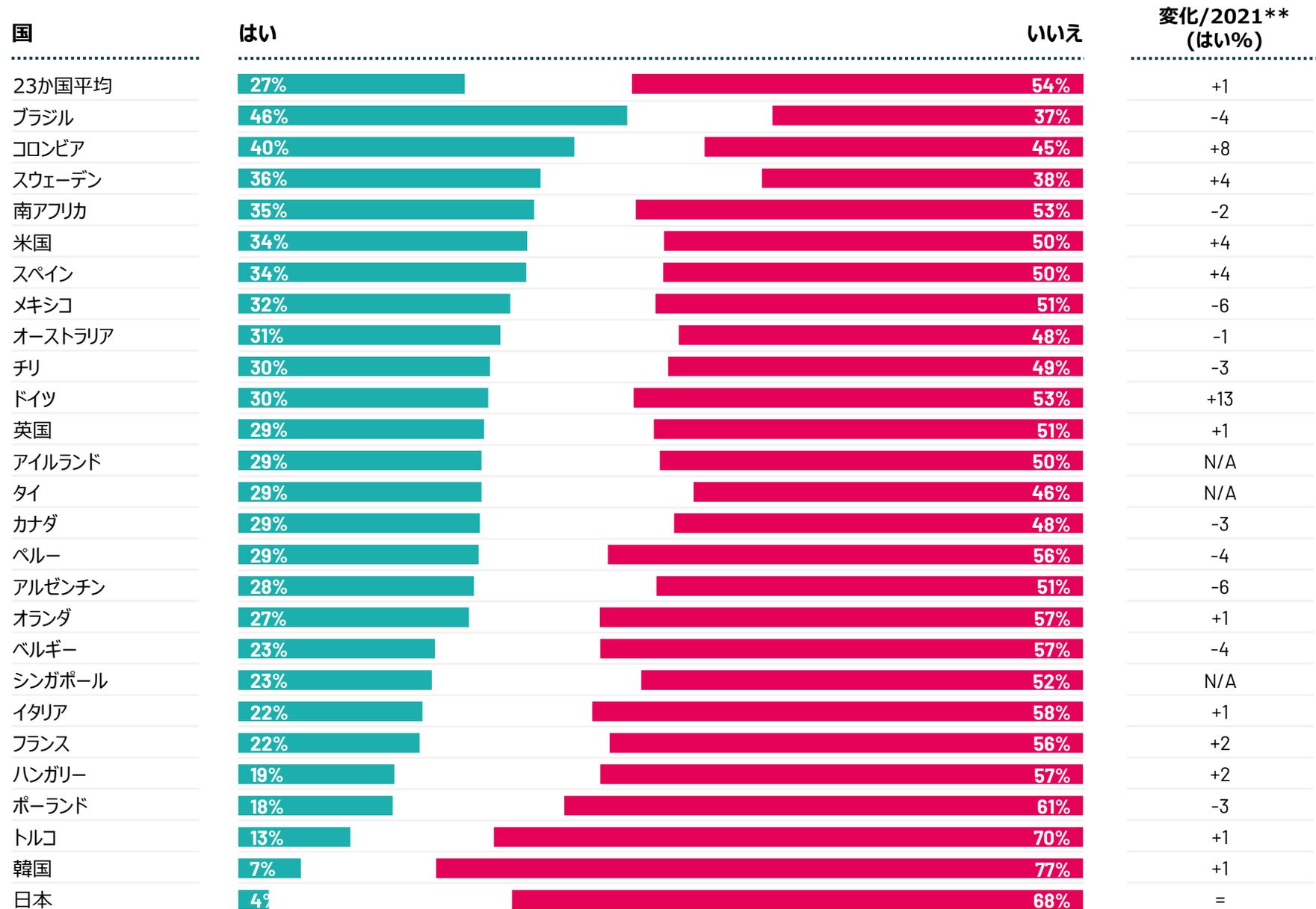
国別： LGBT+の認知度

Q.あなたの親類、友人、同僚の中に、以下に当てはまる人はいますか？

バイセクシャル

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23か国で15,569人を対象に調査が行われた。



国別： LGBT+の認知度

Q.あなたの親類、友人、同僚の中に、以下に当てはまる人はいますか？

トランスジェンダー

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。

国	はい	いいえ	変化/2021** (はい%)
23カ国平均	12%	76%	+2
タイ	46%	39%	N/A
英国	19%	73%	+6
カナダ	18%	69%	=
ブラジル	18%	66%	+3
米国	17%	71%	+3
オーストラリア	17%	70%	-1
チリ	16%	71%	+3
スウェーデン	16%	68%	+2
南アフリカ	16%	74%	+6
オランダ	16%	78%	+2
ドイツ	16%	73%	+9
シンガポール	14%	72%	N/A
コロンビア	14%	73%	+1
メキシコ	14%	71%	-2
アイルランド	13%	75%	N/A
ベルギー	13%	80%	+3
ペルー	12%	76%	=
スペイン	12%	79%	+2
アルゼンチン	10%	78%	-2
フランス	8%	83%	+4
ポーランド	8%	79%	+1
トルコ	7%	82%	+3
イタリア	7%	83%	=
ハンガリー	5%	82%	+3
日本	4%	70%	=
韓国	2%	87%	=



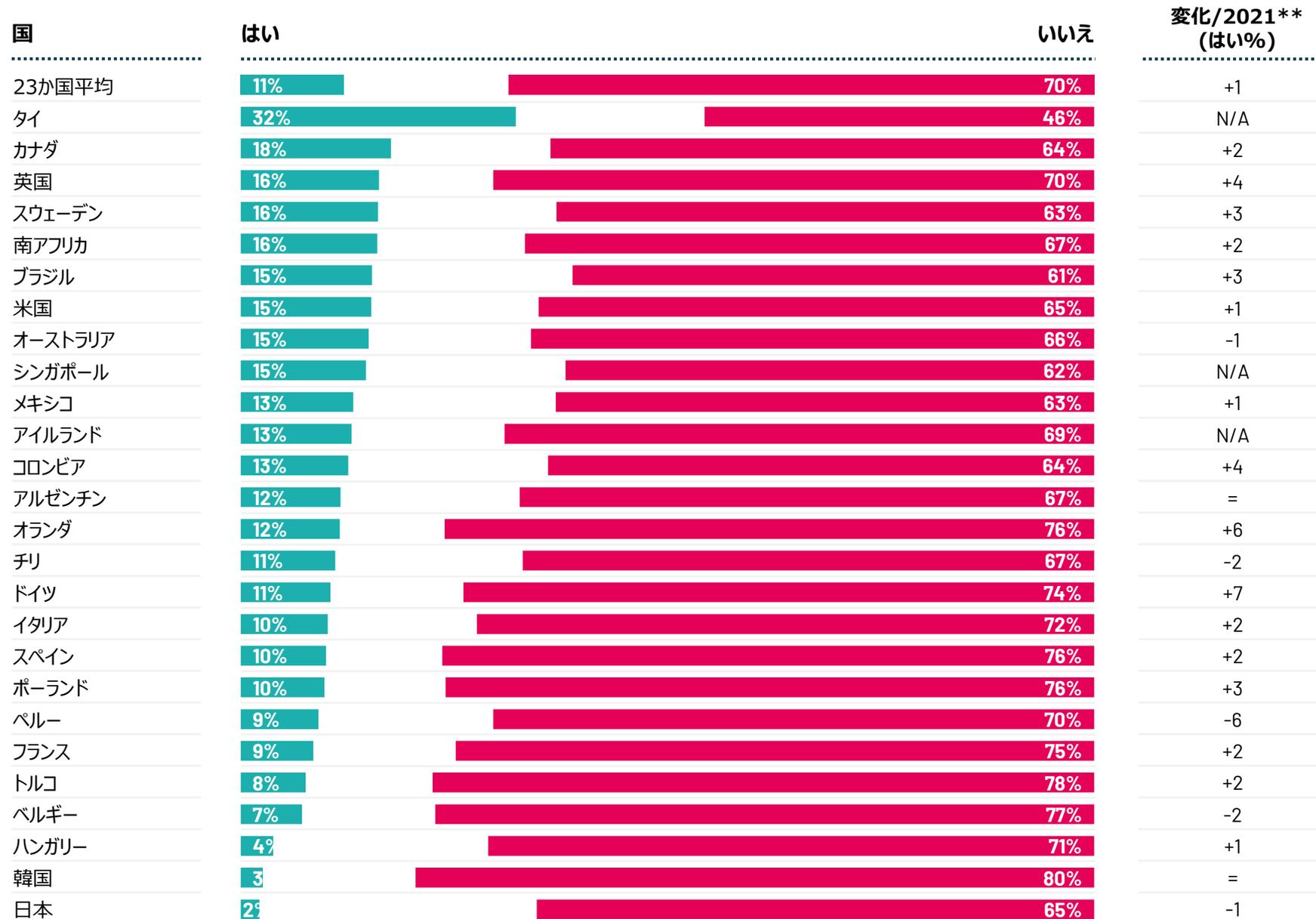
国別： LGBT+の認知度

Q.あなたの親類、友人、同僚の中に、以下に当てはまる人はいますか？

ノンバイナリ、
ジェンダーノンコンフォーミング、
またはジェンダーフルイド

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



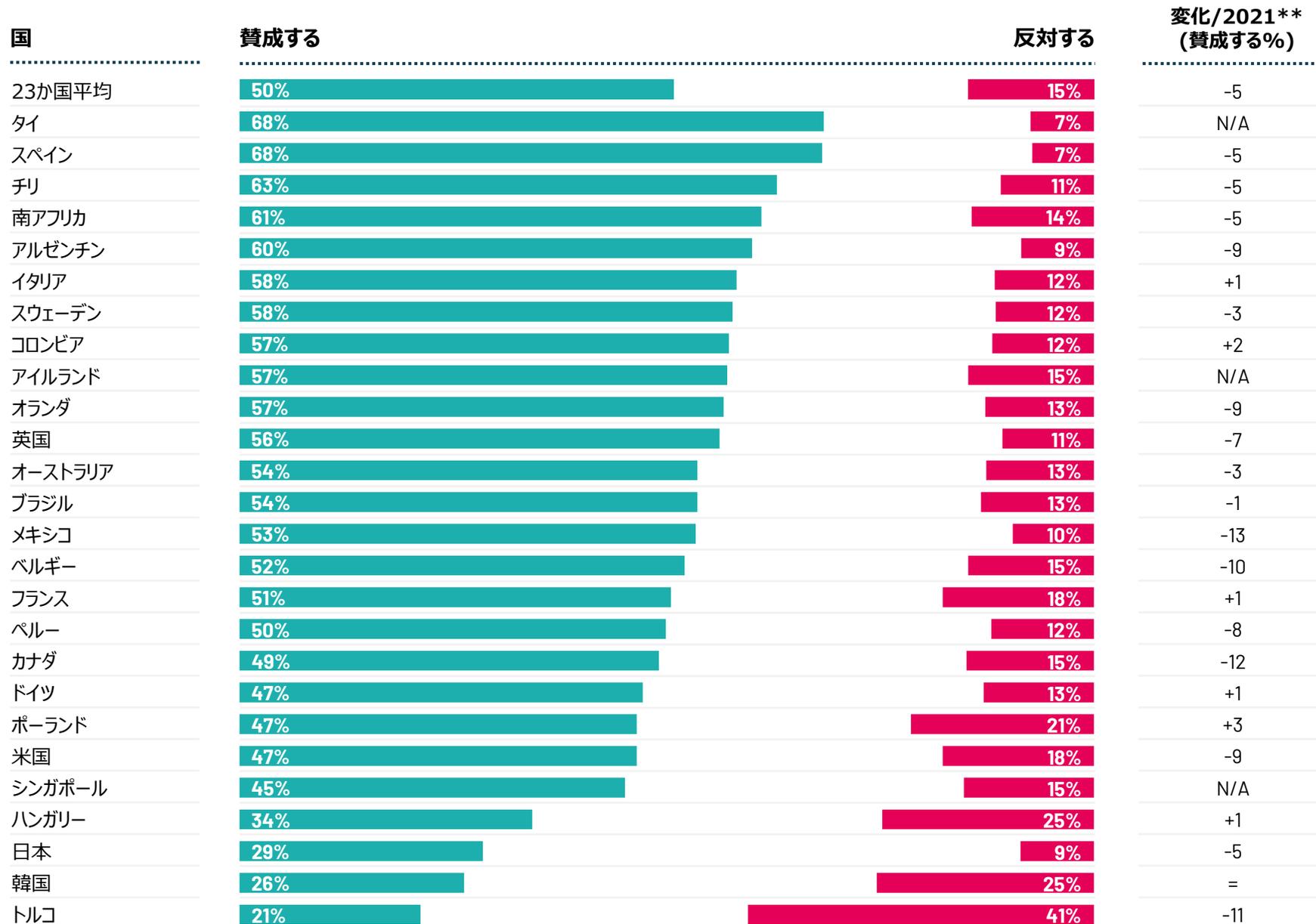
国別： LGBT+に対する 考え方

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？

LGBTの人々が、性的指向や性同一性について誰にでも公表すること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



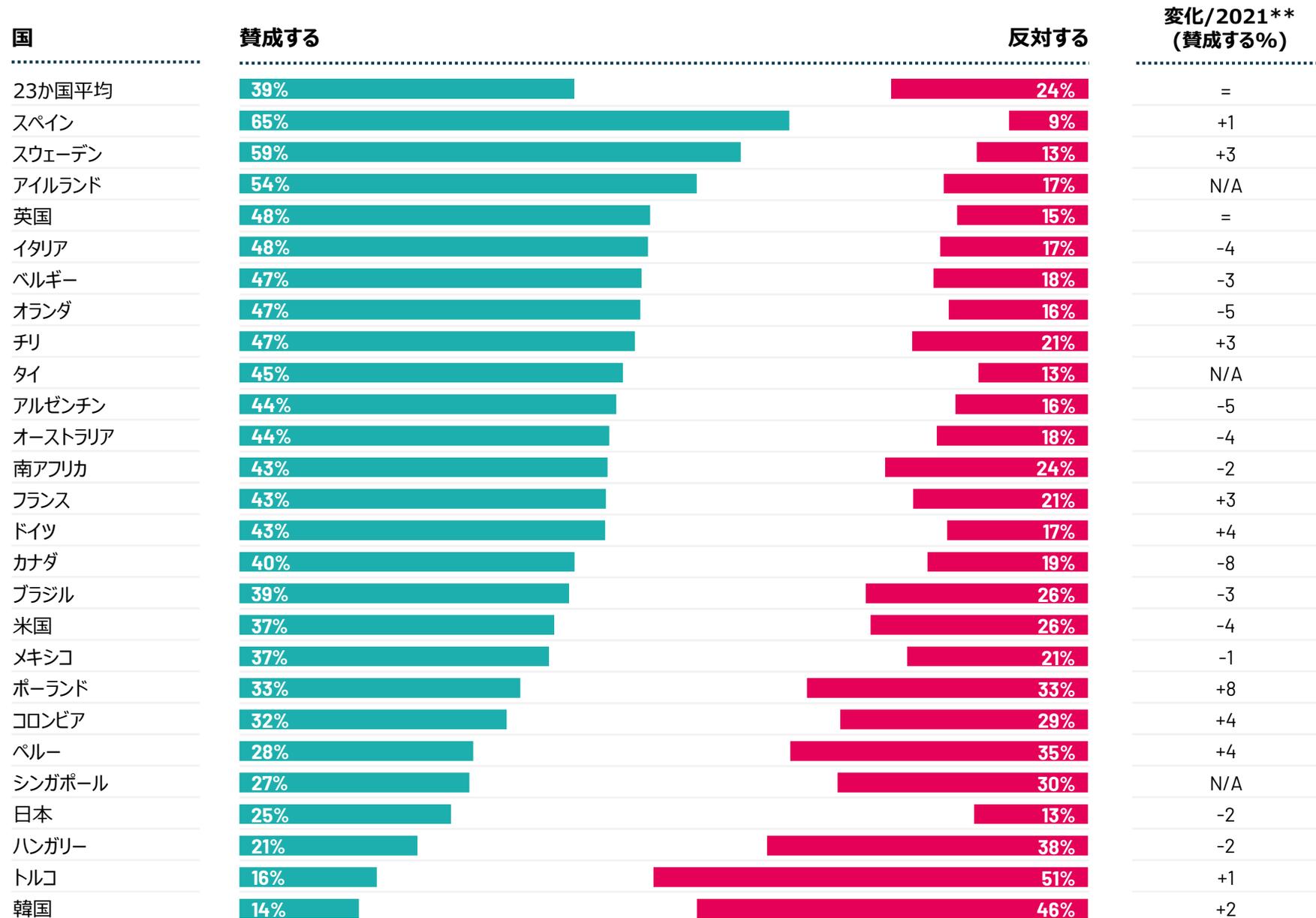
国別： LGBT+に対する 考え方

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？

LGBTの人々が、人前で愛情を示すこと（キスや手をつなぐことなど）

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



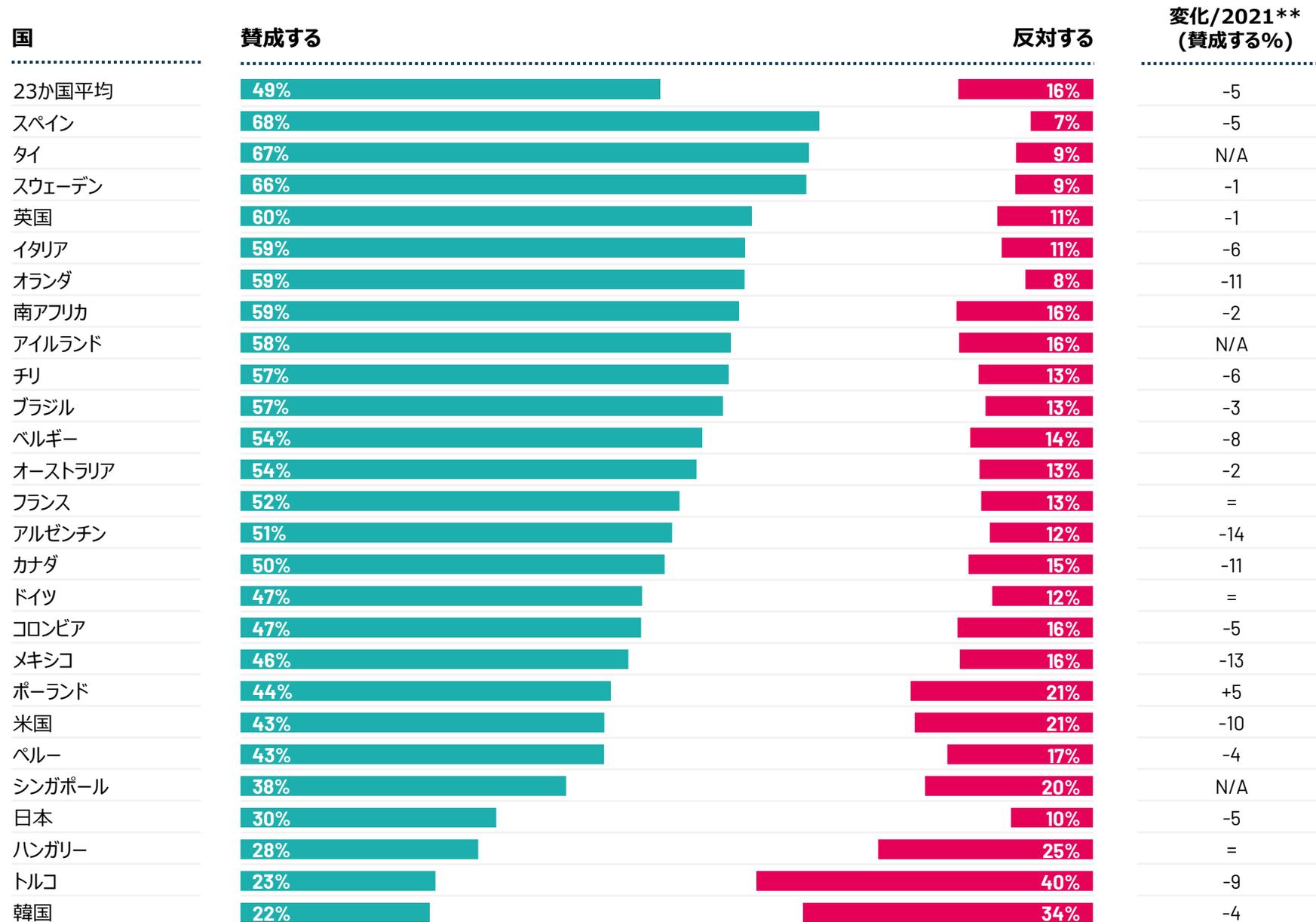
国別： LGBT+に対する 考え方

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？

レズビアン、ゲイ、バイセクシャルであることを公表するアスリートがスポーツチームにいること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。

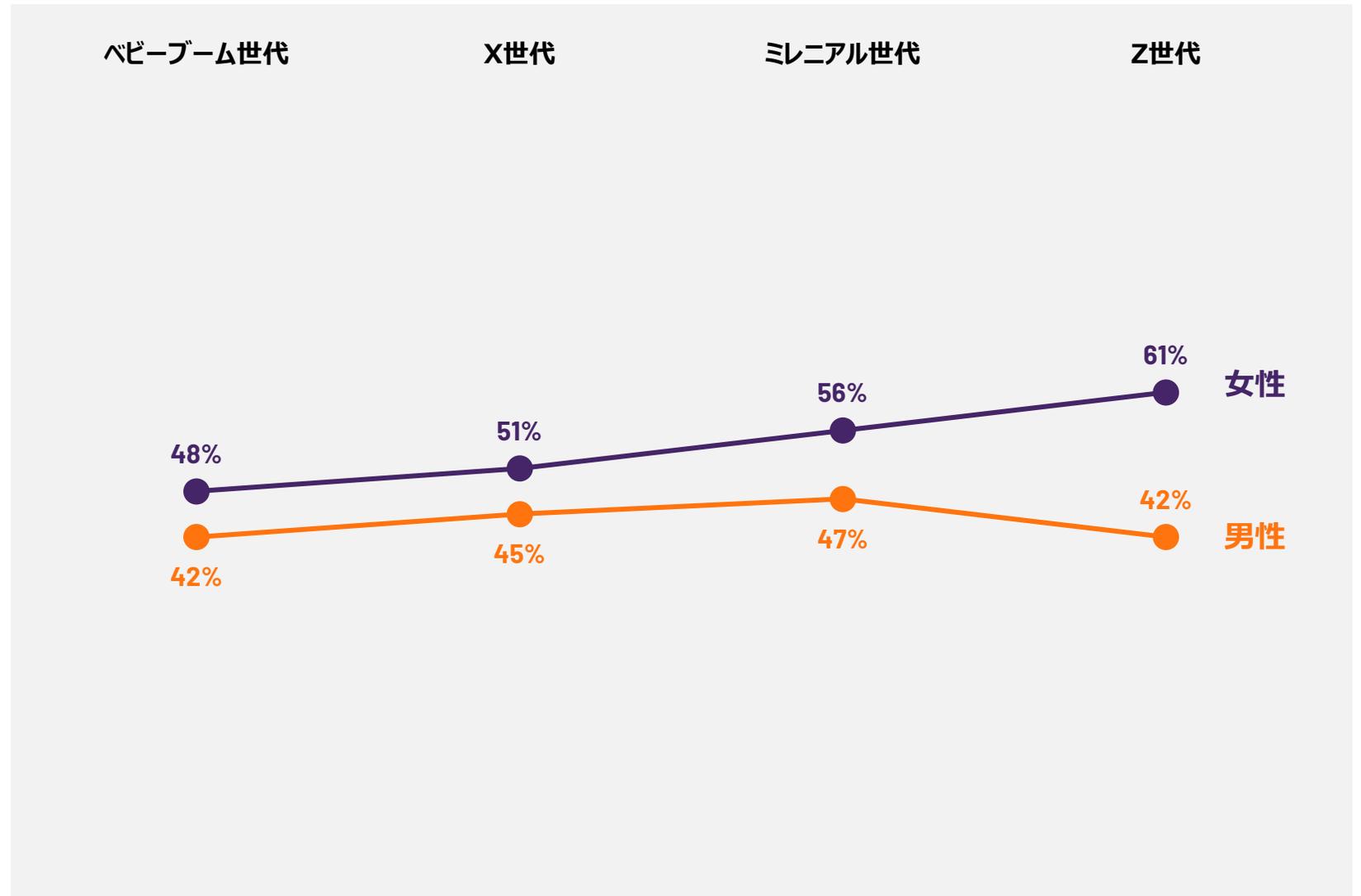


世代別* : LGBT+に対する 態度

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？
(賛成する%)

レズビアン、ゲイ、バイセクシャル
であることを公表するアスリートが
スポーツチームにいること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの
21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515
人。2024年2月23日~3月8日に調査。



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



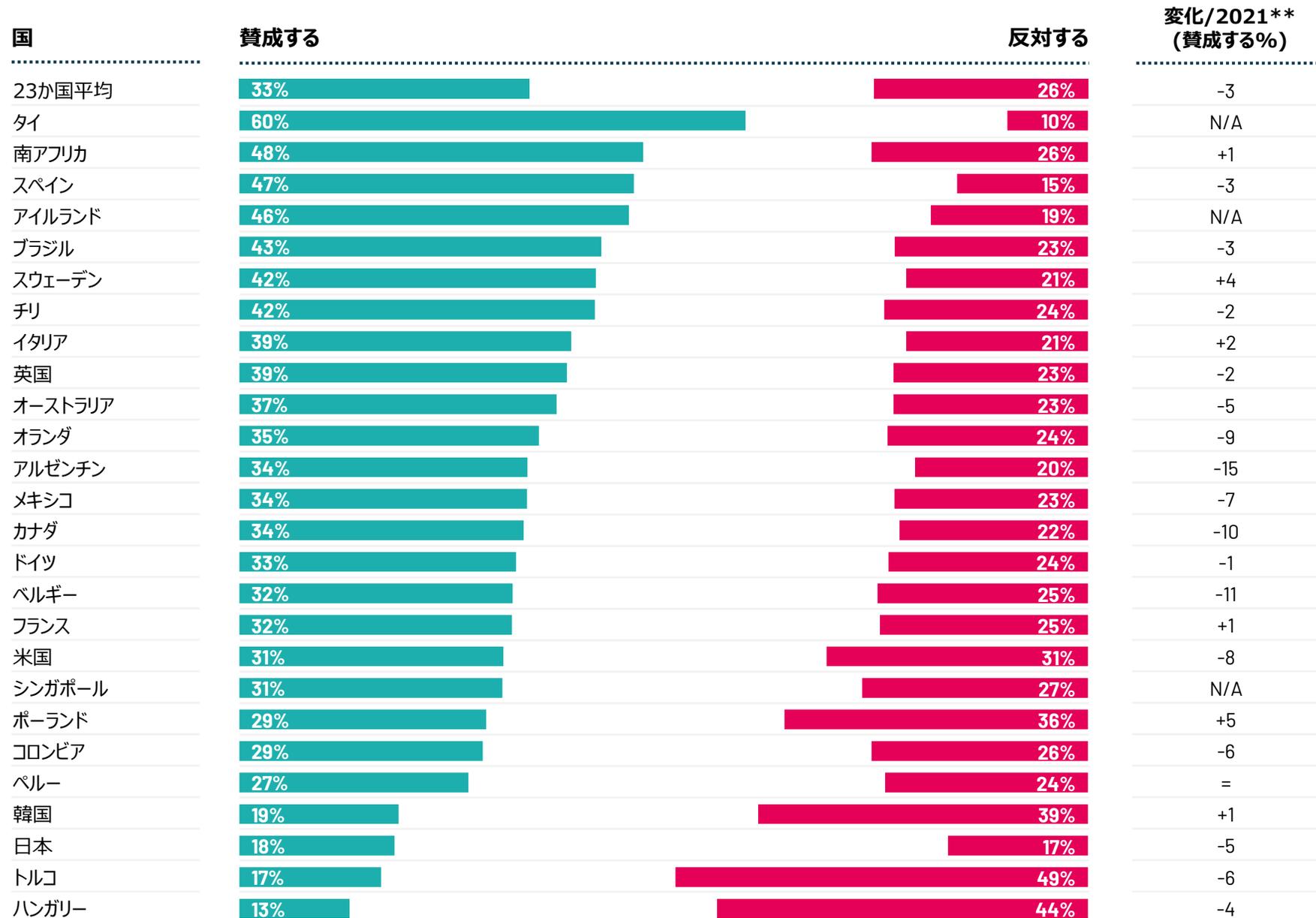
国別： LGBT+の認知度

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？

テレビ、映画、広告で、LGBT
キャラクターを増やすこと

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。

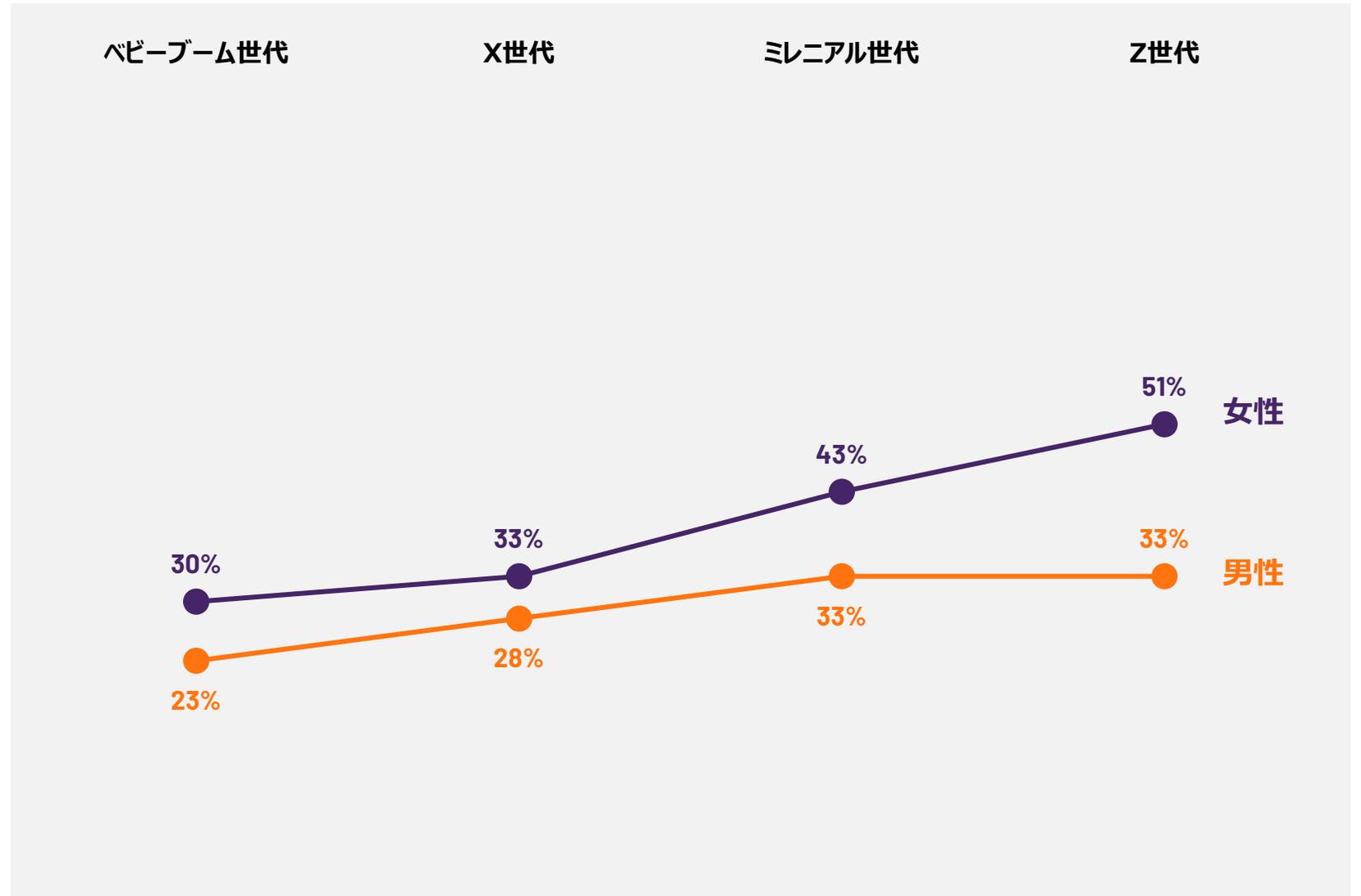


世代別* : LGBT+の認知度

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？
(賛成する%)

テレビ、映画、広告で、LGBT
キャラクターを増やすこと

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの
21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515
人。2024年2月23日~3月8日に調査。



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



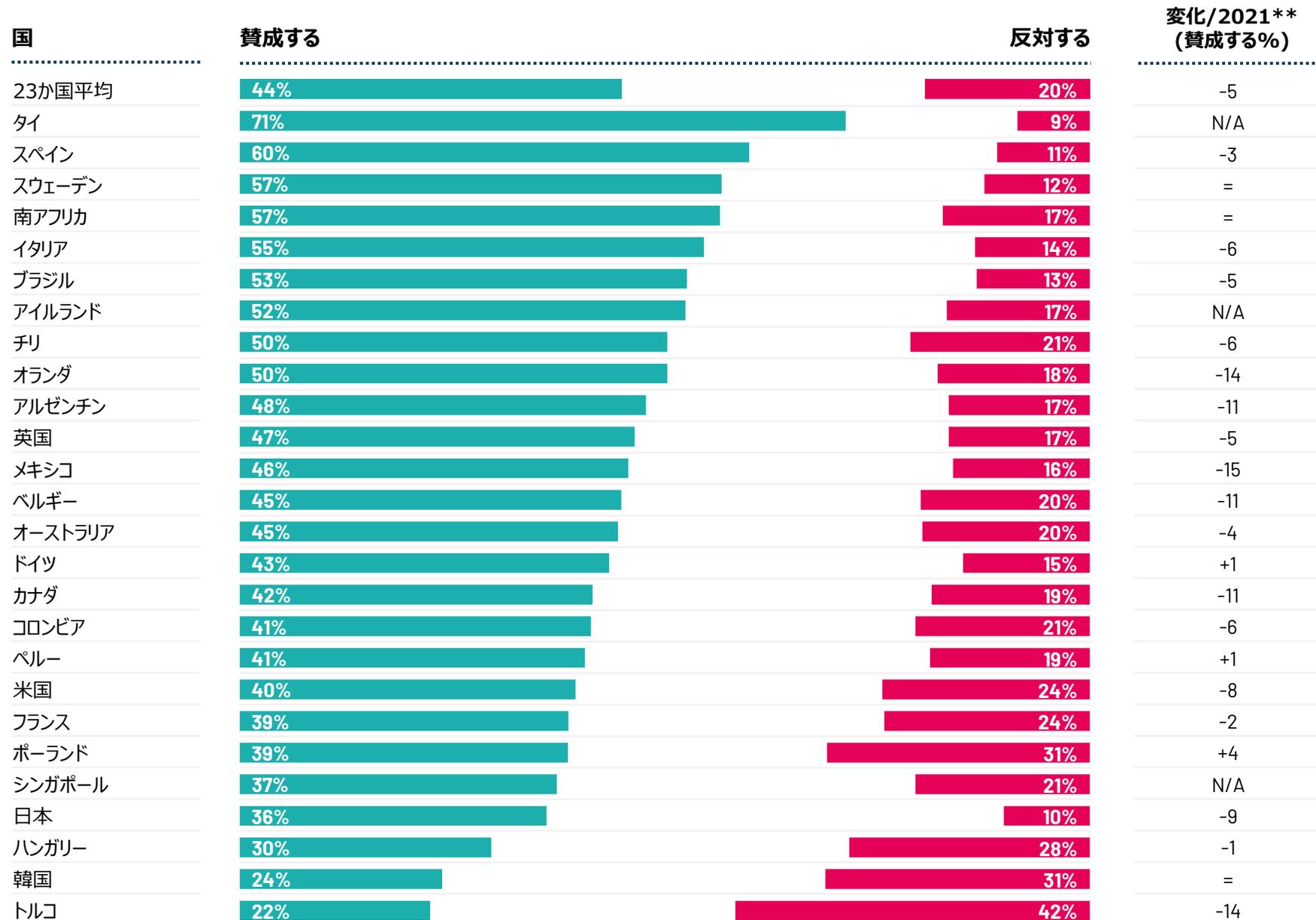
国別： LGBT+の認知度

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？

企業やブランドが、LGBTの人々の平等を積極的に推進すること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。

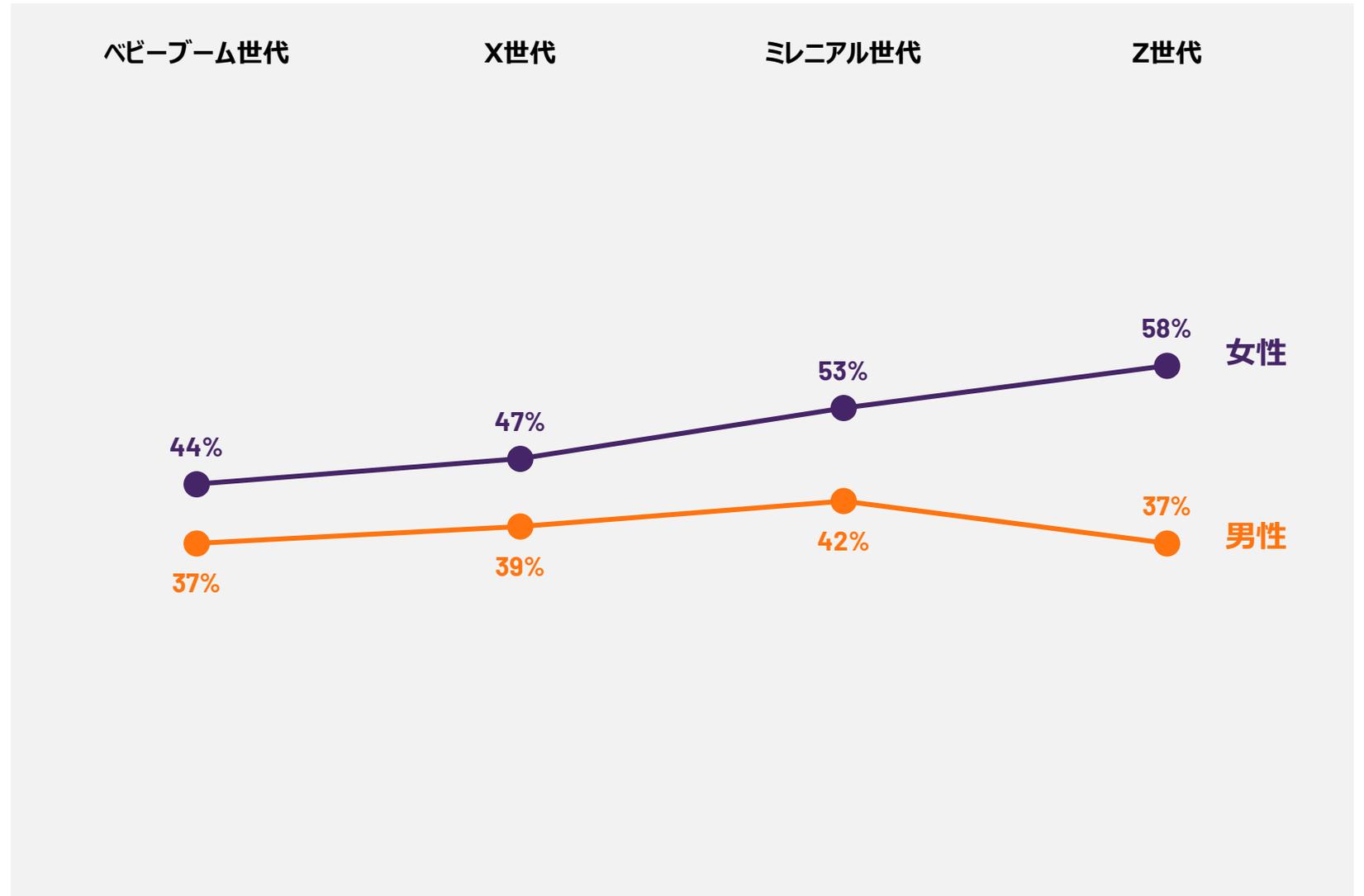


世代別* : LGBT+の認知度

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？
(賛成する%)

企業やブランドが、LGBTの人々の平等を積極的に推進すること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



LGBT+の権利と保護

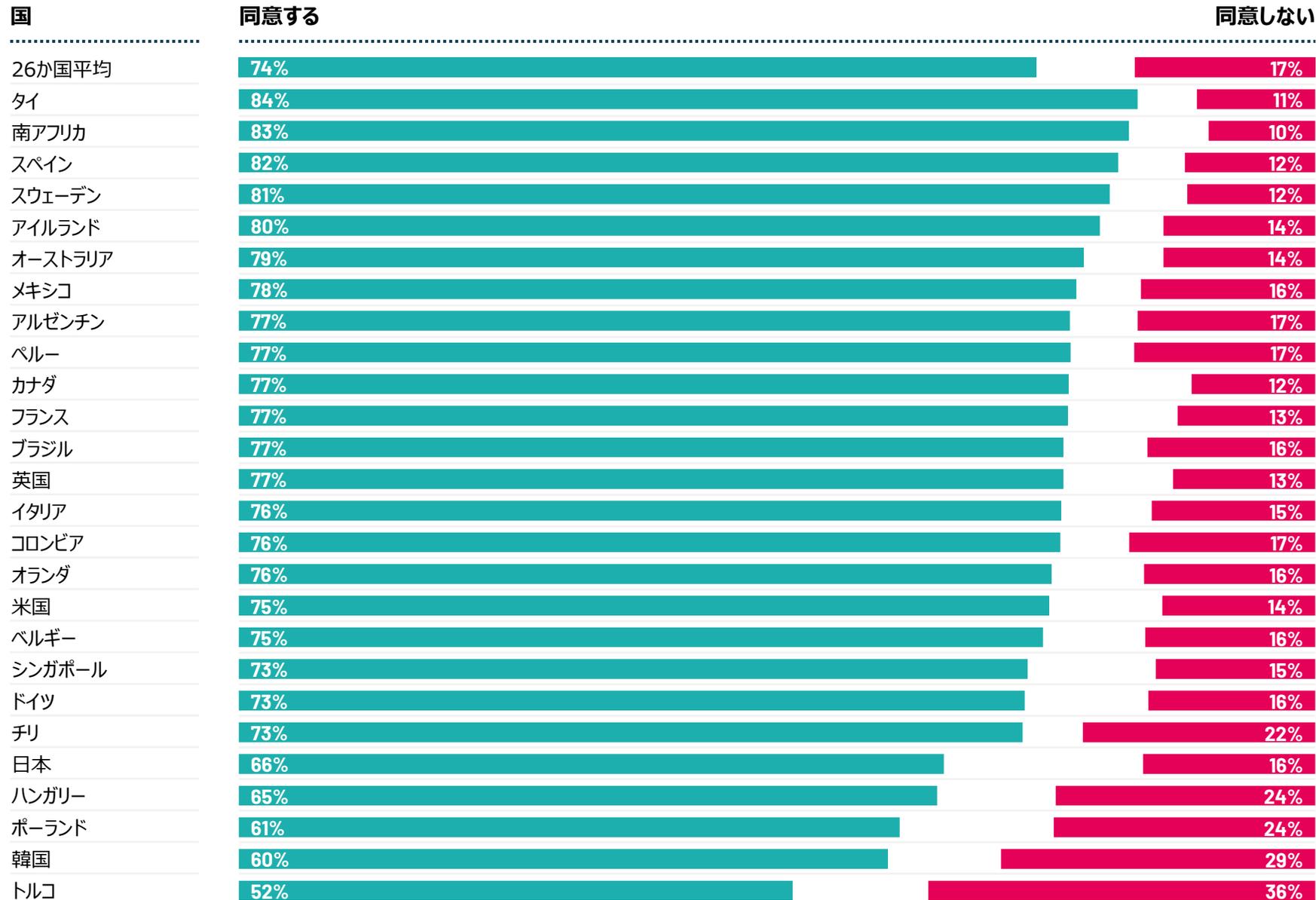


国別： LGBTの権利と保護 に関する意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？

レズビアン、ゲイ、バイセクシャルの人々は、雇用、住宅、レストランや店舗などの企業へのアクセスに関する差別から保護される必要がある

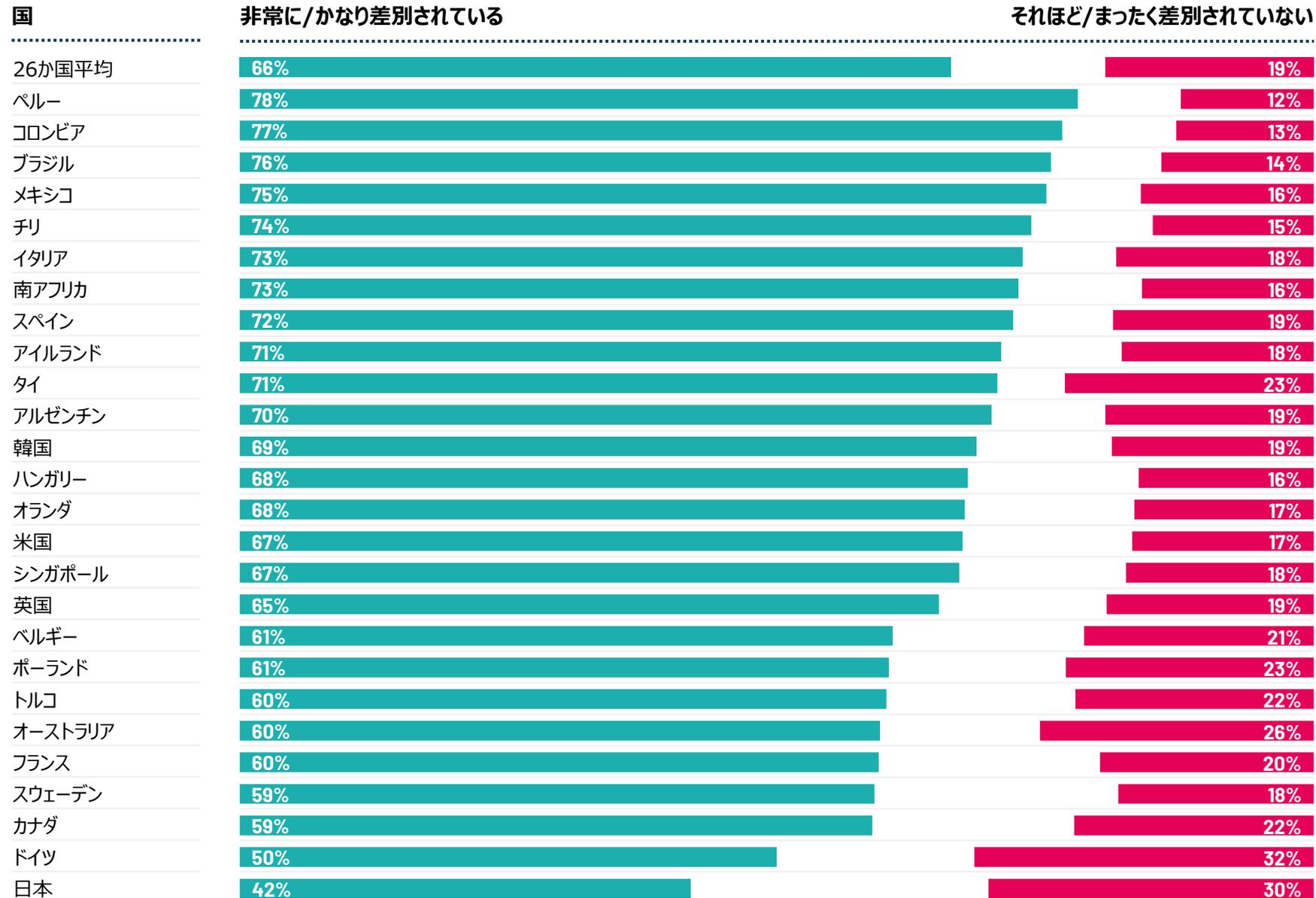
ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。



国別： トランスジェン ダー差別の認識

Q.現在、トランスジェンダーの人々は社会でどの程度の差別を受けていると思いますか？

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

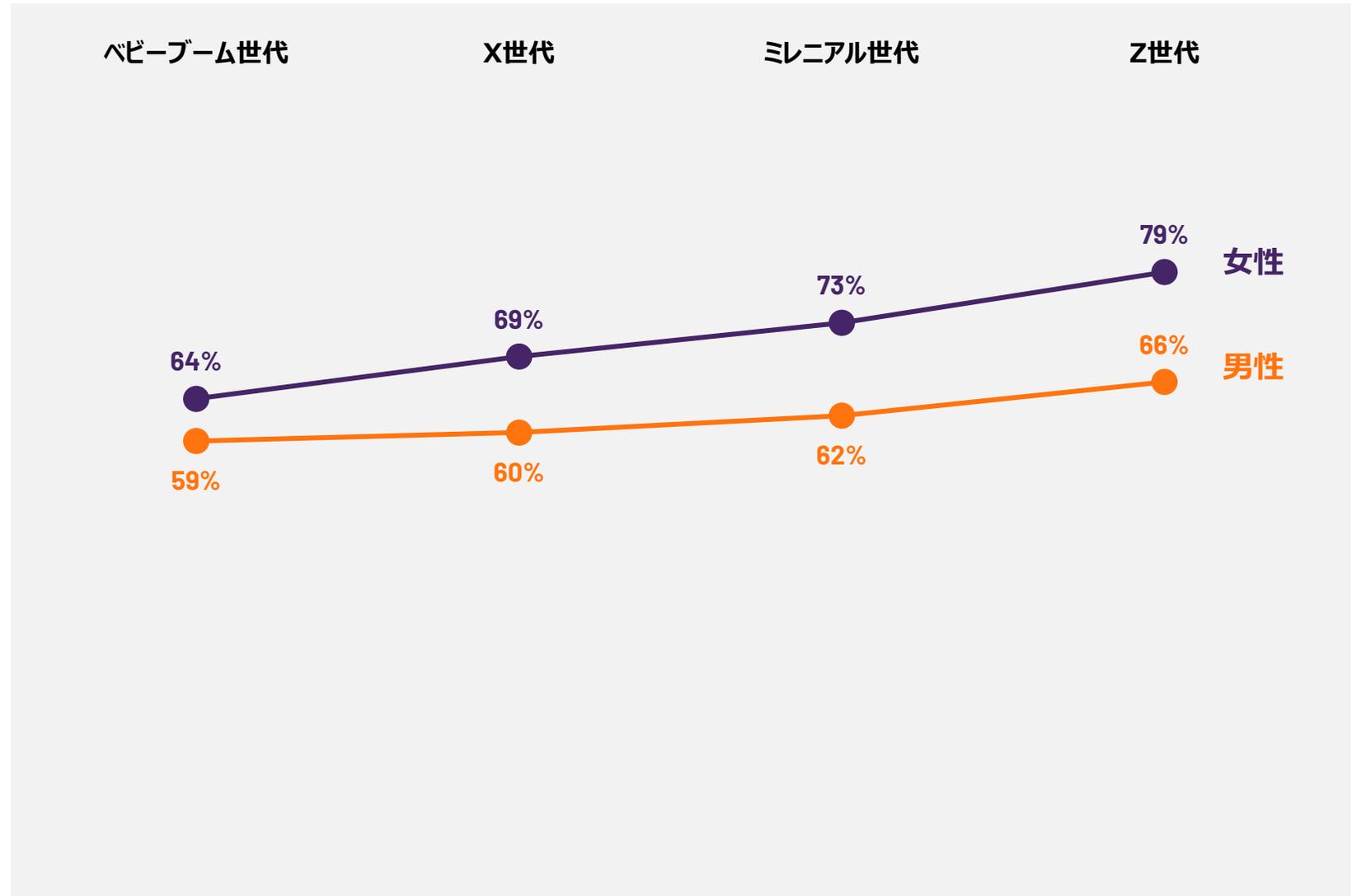


世代別*： トランスジェン ダー差別の認識

Q.現在、トランスジェンダーの
人々は社会でどの程度の差別を
受けていると思いますか？

(非常に/かなり差別されてい
る%)

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの
21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515
人。2024年2月23日~3月8日に調査。



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



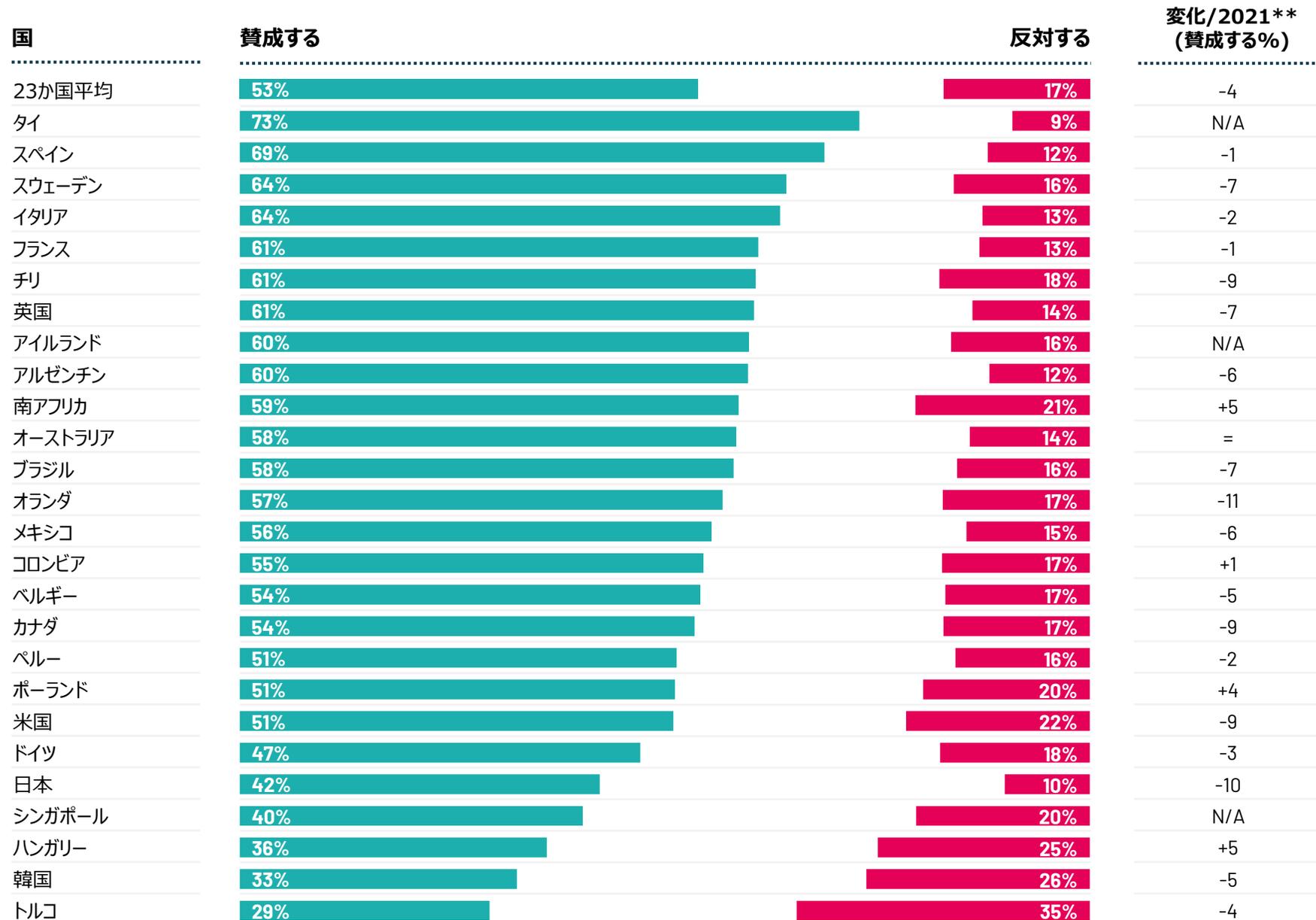
国別： LGBTの権利と保護 に関する意見

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？

雇用、教育機会、住宅供給、社会サービスなどで、LGBTの人々に対する差別を法律で禁止すること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。

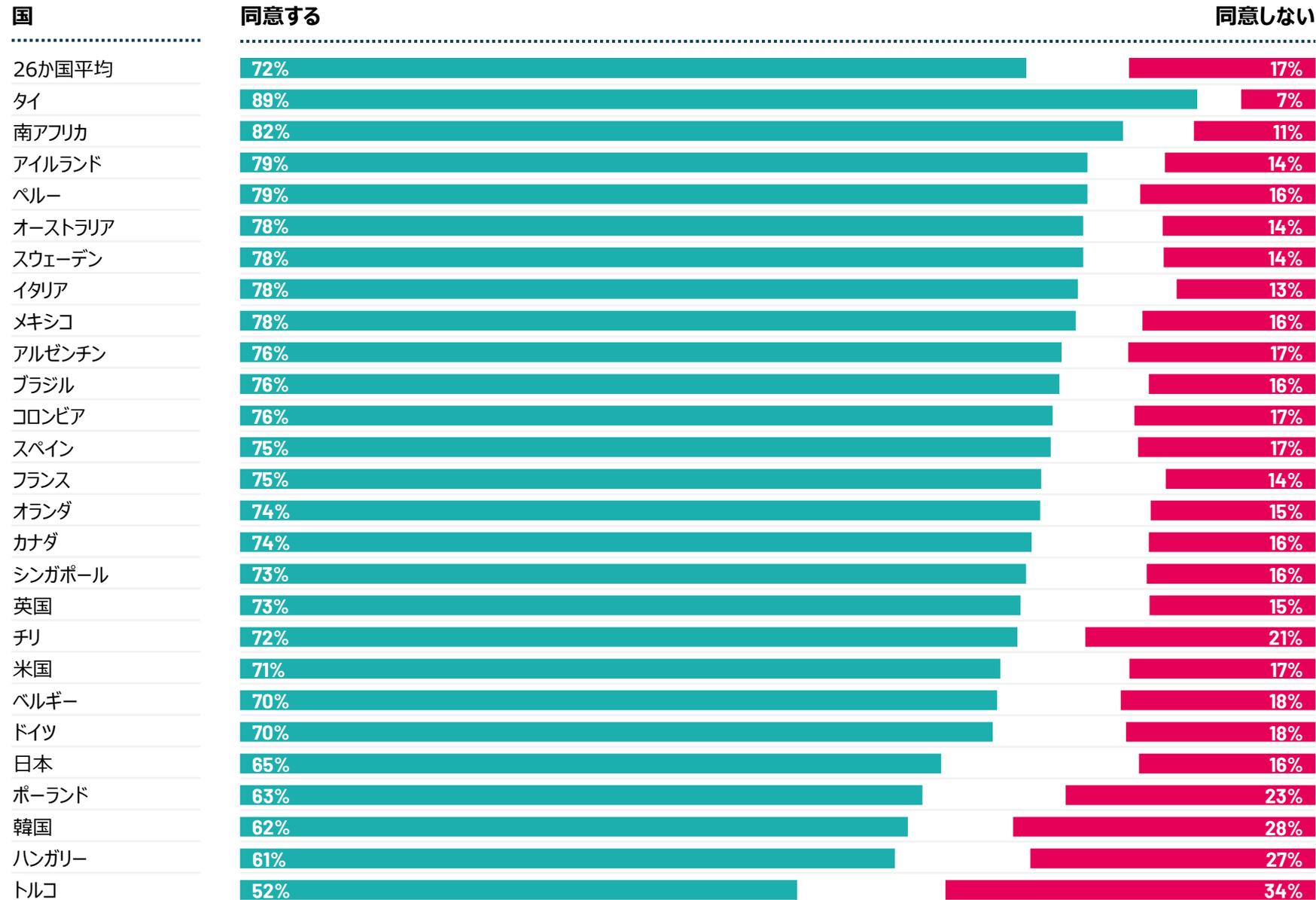


国別： トランスジェンダー 差別保護に関する 意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？

トランスジェンダーの人は、雇用、住宅、レストランや店舗などの企業へのアクセスに関する差別から保護される必要がある

調査ベース：カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、タイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳までの成人18,515人。2024年2月23日～3月8日に調査。

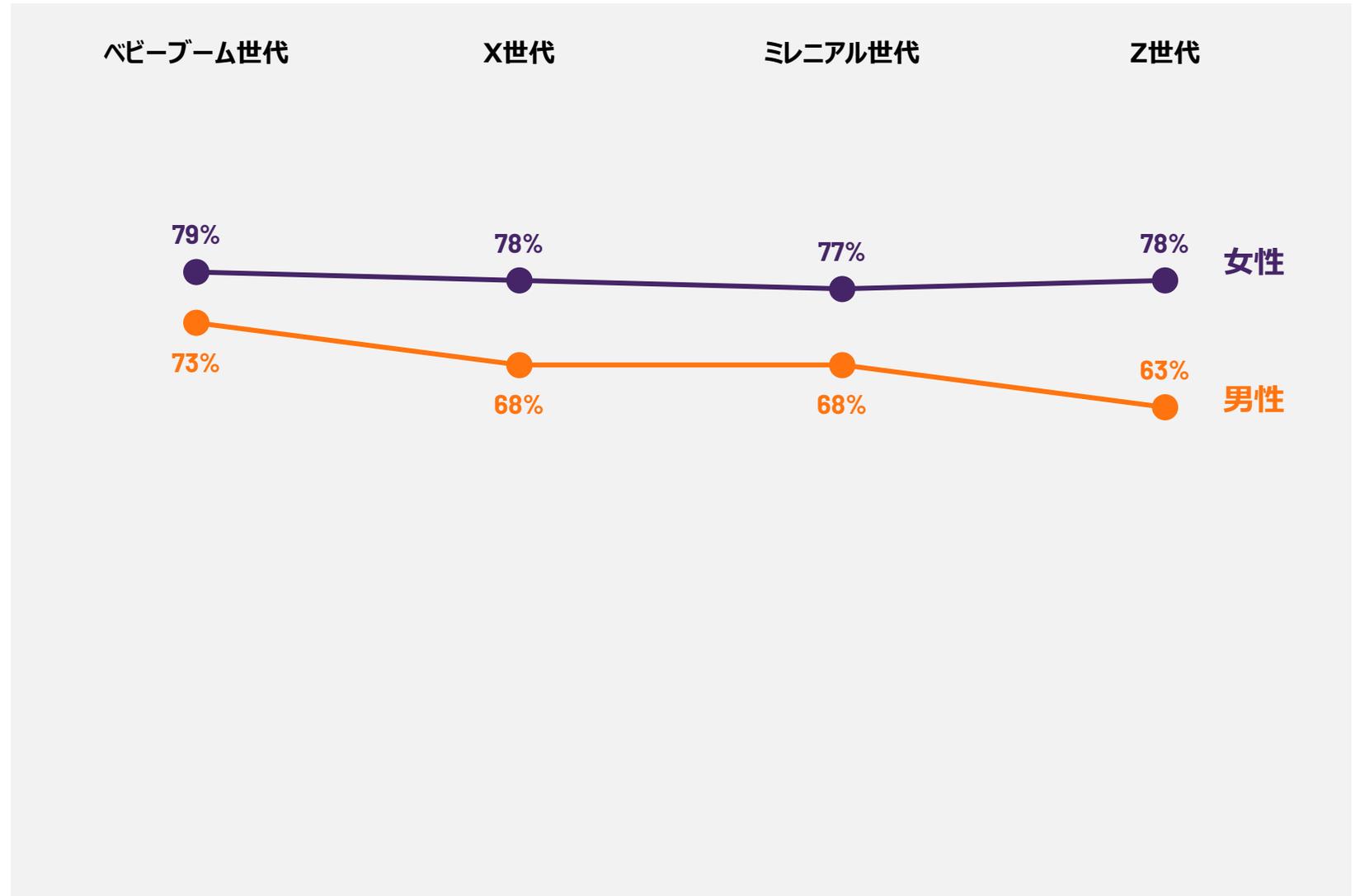


世代別*： トランスジェンダー 差別保護に関する 意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？
(同意する%)

トランスジェンダーの人は、雇用、住宅、レストランや店舗などの企業へのアクセスに関する差別から保護される必要がある

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）

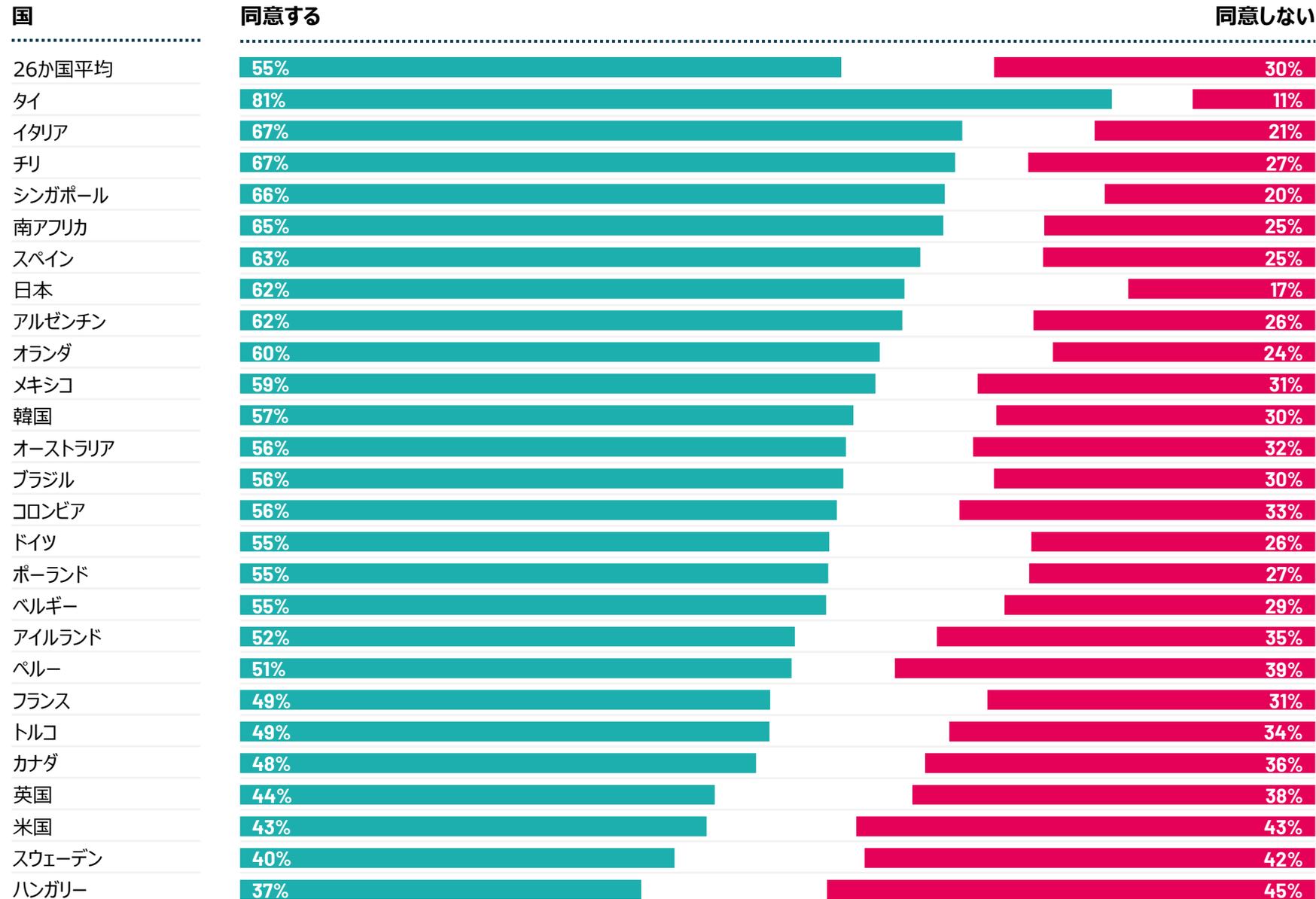


国別： 10代の若者の 性適合ケアへのアク セスに関する意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？

トランスジェンダーのティーンエージャーは、保護者の同意の上で性適合のためのケア（カウンセリングやホルモン補充療法など）を受けることを許可されるべきである

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。



世代別*： 10代の若者の 性適合ケアへのアク セスに関する意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？（同意する%）

トランスジェンダーのティーンエイジャーは、保護者の同意の上で性適合のためのケア（カウンセリングやホルモン補充療法など）を受けることを許可されるべきである

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

ベビーブーム世代

X世代

ミレニアル世代

Z世代



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）

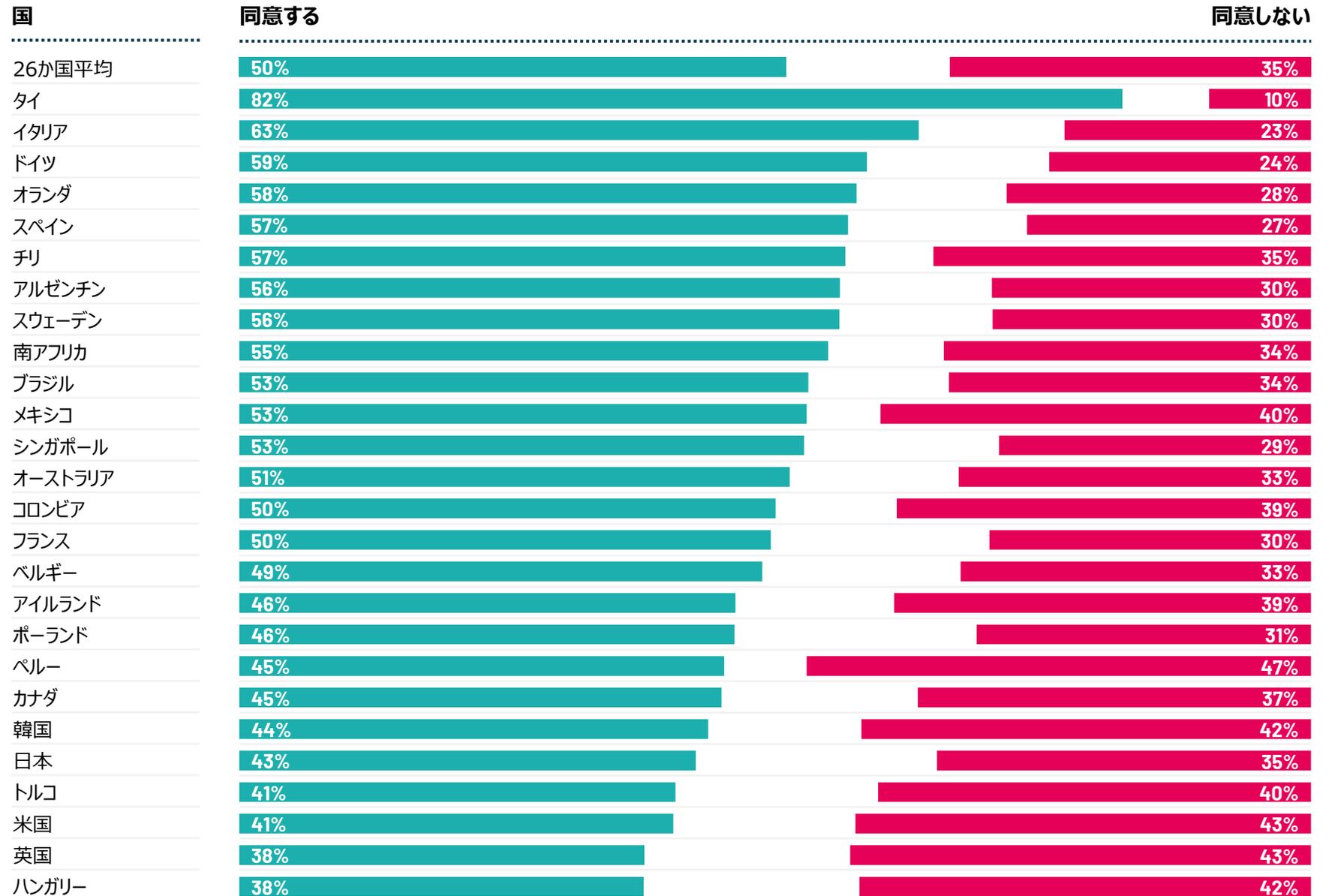


国別： 性自認に合った施設の利用に関する 意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？

トランスジェンダーの人は、自認した性別に対応した男女別の施設（例：公共トイレ）を使用することを許可されるべきである

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、タイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国の16～74歳の成人18,515人。2024年2月23日～3月8日に調査。

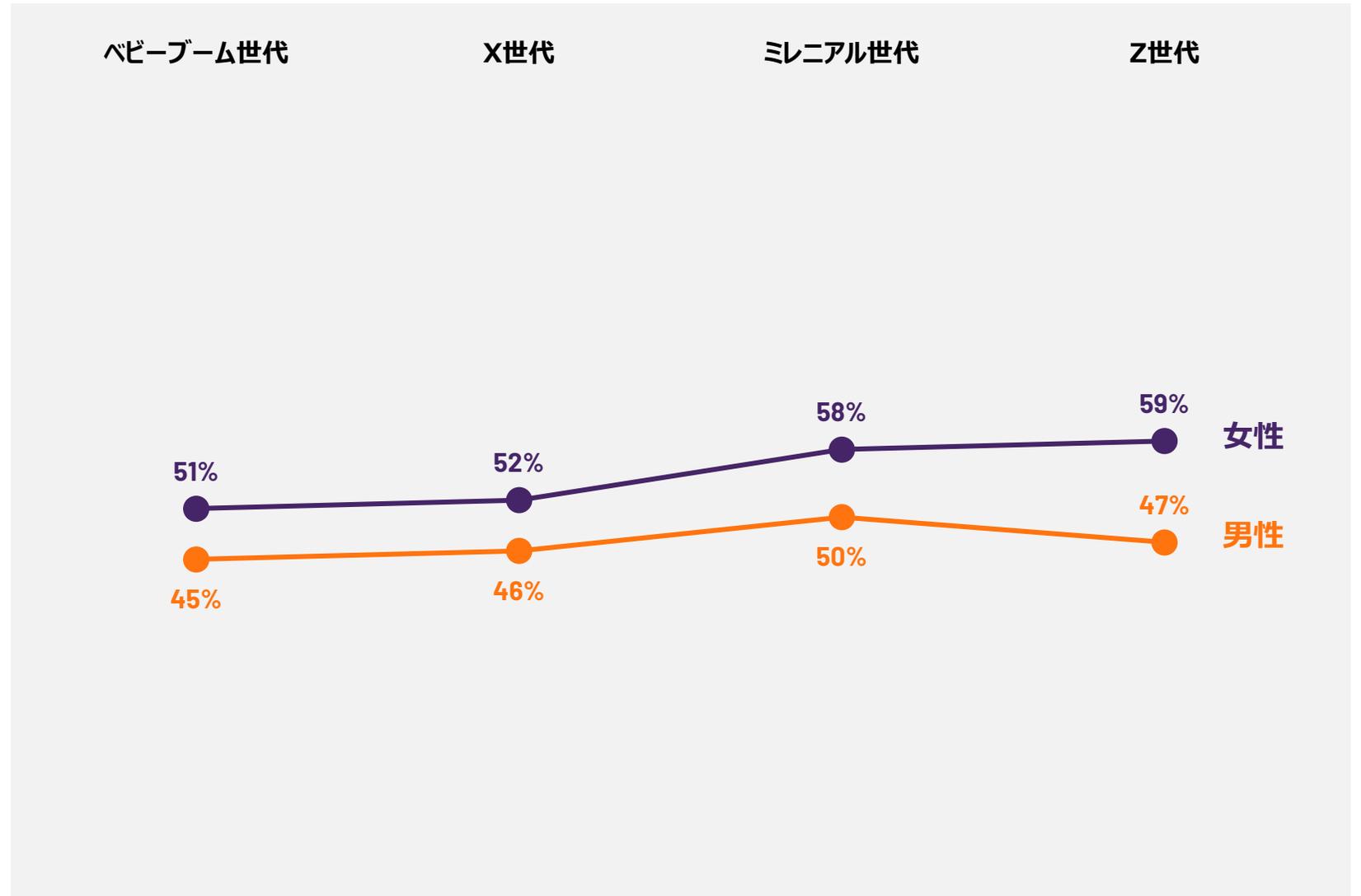


世代別*： 性自認に合った施設の利用に関する 意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？（同意する%）

トランスジェンダーの人は、自認した性別に対応した男女別の施設（例：公共トイレ）を使用することを許可されるべきである

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



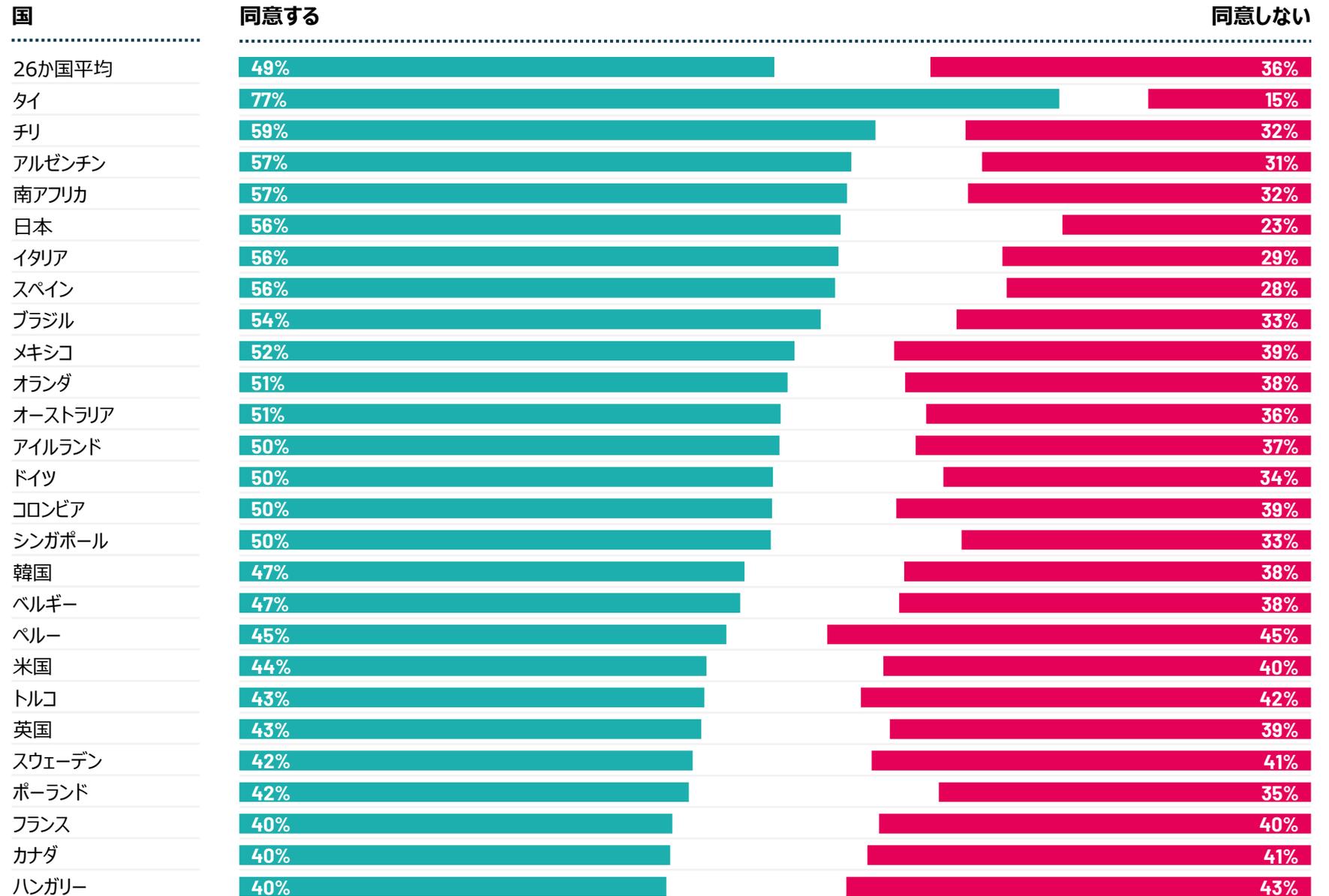
国別： 公文書における 性別選択に関する 意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？

パスポートなどの政府発行の書類には、男女どちらの性も自認していない人のために「男性」と「女性」以外の選択肢を載せる必要がある

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

***26カ国平均の変化は、2024年と2023年の両方の世論調査に参加した国に基づいています。

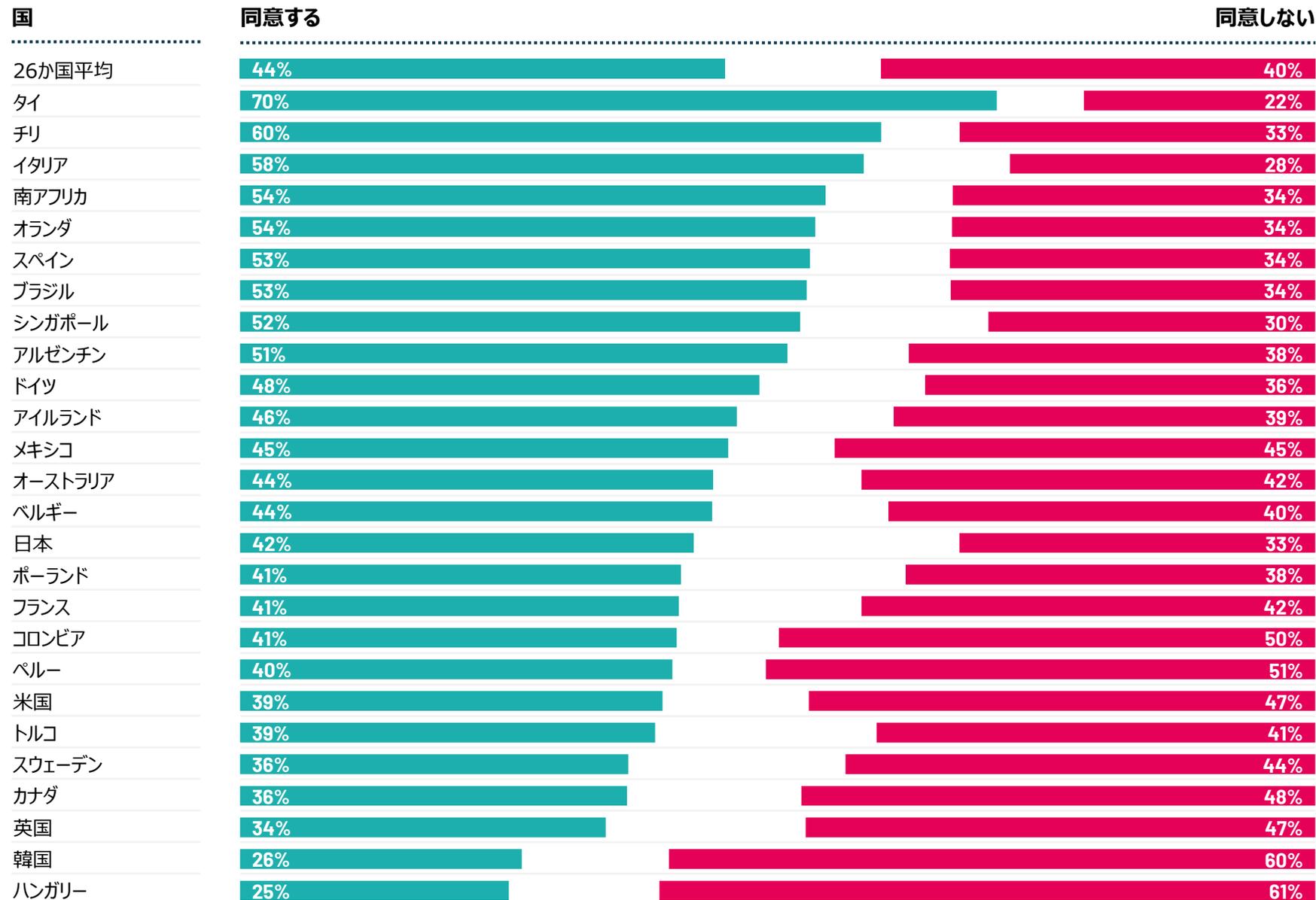


国別： 性転換費用の保険 適用に関する意見

Q.以下の記述について、どの程度同意しますか、あるいは同意しませんか？

性転換にかかる費用は、健康保険制度で他の医療行為と同じように負担すべきである

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。



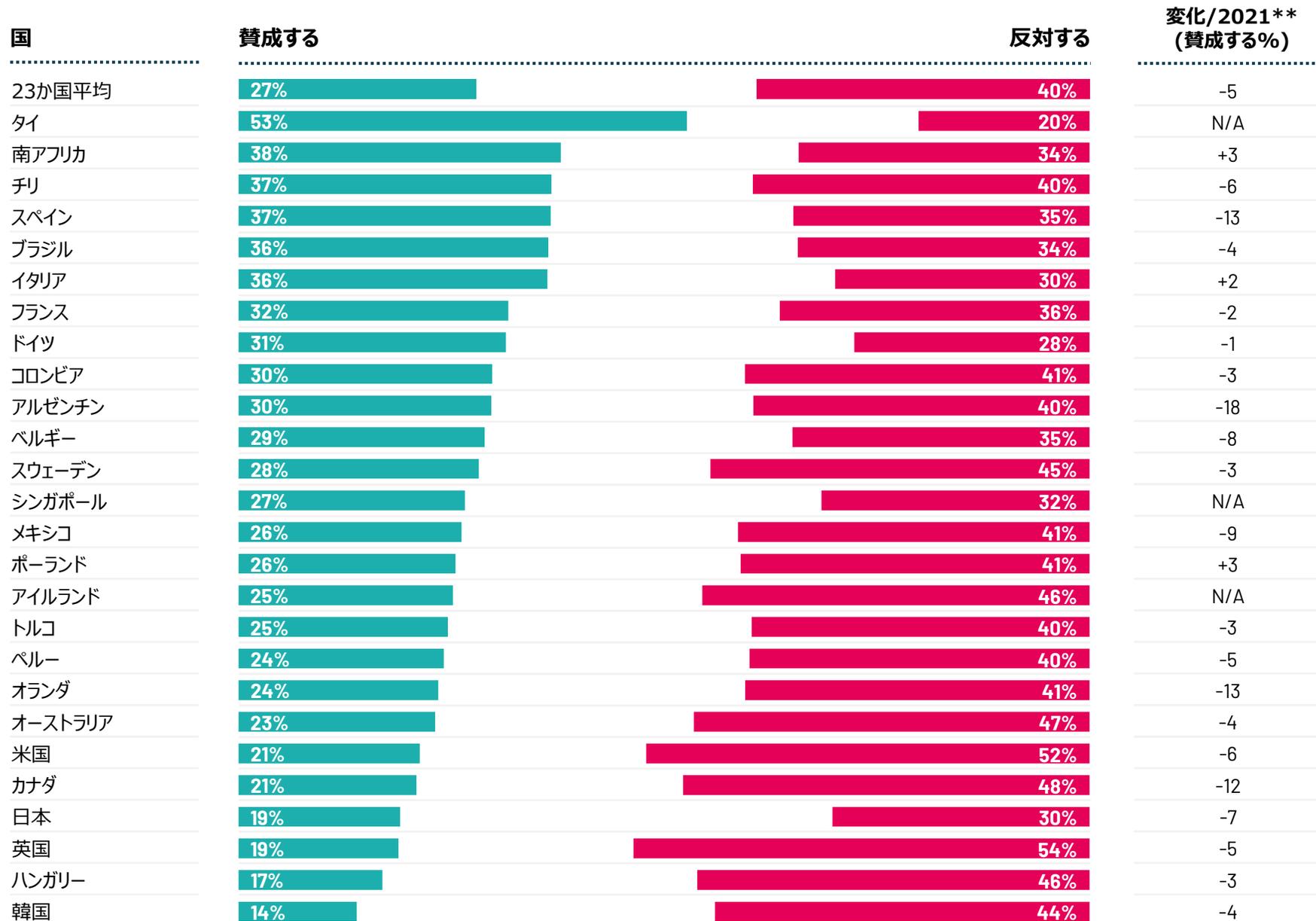
国別： トランスジェンダーアスリートに対する意見

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？

トランスジェンダーのアスリートは、出生時に決定された性別ではなく、自分で認識している性別に基づいて競技すること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



世代別*： LGBTの平等と 可視性に関する 意見

Q. 次のそれぞれについて、どの程度賛成または反対しますか？
(賛成する%)

トランスジェンダーのアスリートは、
出生時に決定された性別ではなく、
自分で認識している性別に基づいて
競技すること

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの
21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。

ベビーブーム世代

X世代

ミレニアル世代

Z世代



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



同性結婚と子育て



国別：同性婚に対する考え方

Q.同性のカップルの権利に関するあなたの個人的な意見に最も近いのは、次のうちどれですか？

- 同性のカップルは、法的に結婚することを許可されるべきである
- 同性のカップルは、結婚ではない他の法的承認を得ることを許可されるべきである
- わからない
- 同性のカップルは、結婚することも他の法的承認を得ることも許可されるべきでない

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

国	2024年調査結果				2024結婚または法的承認を許可する (net)	変化/2021** 結婚または法的承認を許可する (net)
23か国平均	55%	16%	13%	16%	71%	-3
スウェーデン	78%	8%	7%	7%	86%	-3
オランダ	77%	8%	8%	7%	85%	-4
スペイン	73%	13%	9%	6%	86%	+2
ドイツ	71%	10%	12%	8%	81%	=
ベルギー	69%	9%	12%	10%	78%	-6
アルゼンチン	69%	9%	15%	7%	78%	-4
アイルランド	68%	8%	10%	13%	76%	N/A
英国	66%	11%	10%	13%	77%	-5
カナダ	65%	10%	13%	12%	75%	-7
チリ	65%	16%	10%	10%	81%	-1
オーストラリア	64%	13%	12%	12%	77%	+1
フランス	62%	16%	12%	10%	78%	+4
イタリア	58%	19%	12%	10%	77%	-6
タイ	58%	20%	12%	9%	78%	N/A
メキシコ	55%	16%	17%	13%	71%	-5
南アフリカ	53%	14%	13%	19%	67%	-4
ブラジル	51%	17%	18%	14%	68%	=
米国	51%	14%	18%	18%	65%	-7
コロンビア	46%	19%	21%	14%	65%	-2
ハンガリー	44%	18%	21%	17%	62%	-4
日本	42%	25%	28%	6%	67%	-2
ポーランド	39%	28%	13%	20%	67%	+1
ペルー	36%	30%	20%	14%	66%	-2
韓国	36%	16%	27%	21%	52%	-2
シンガポール	33%	21%	21%	25%	54%	N/A
トルコ	18%	19%	30%	33%	37%	-6

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23か国で15,569人を対象に調査が行われた。



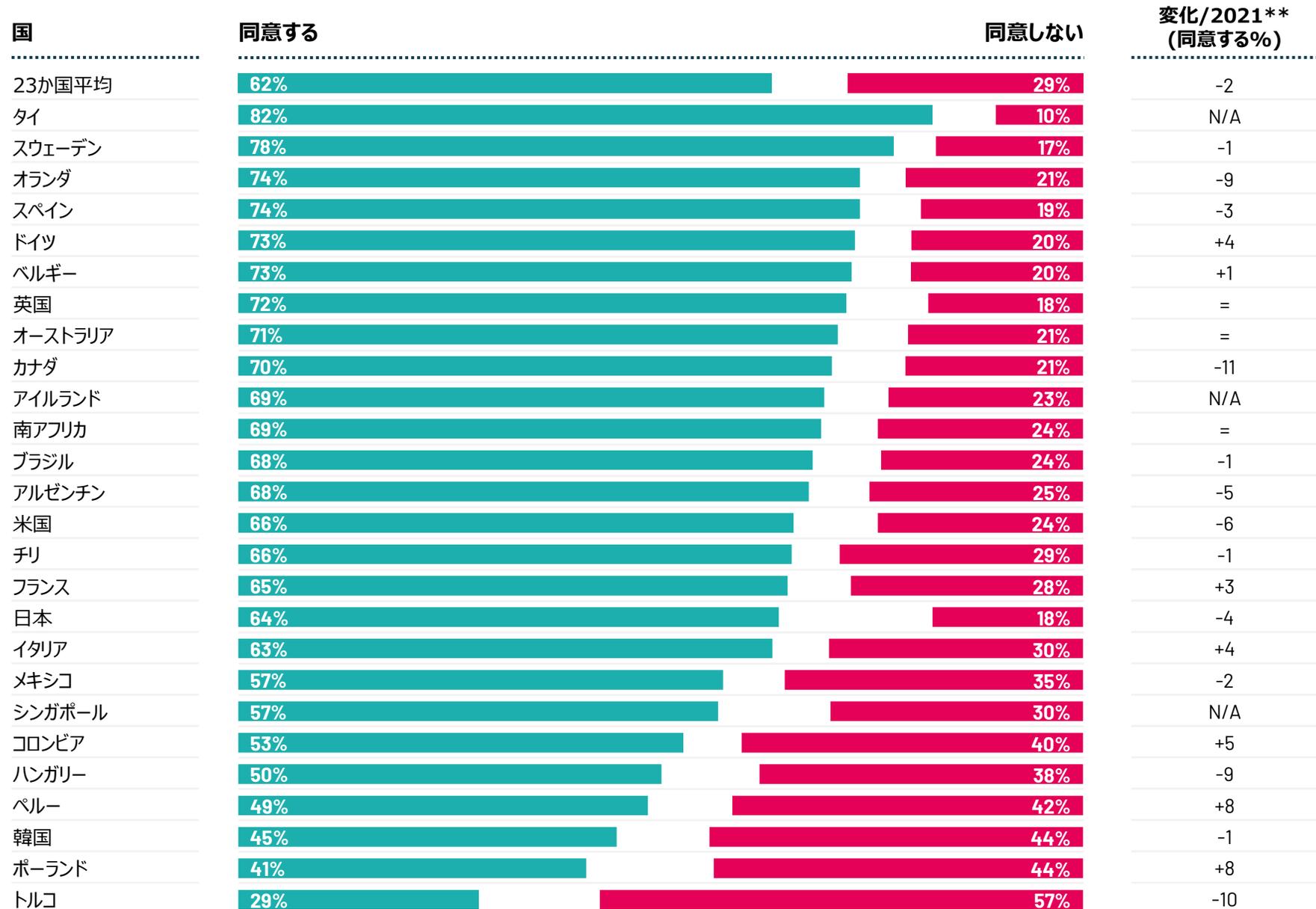
国別：同性カップルの養子縁組の権利に関する意見

Q.同性のカップルに関する次のそれぞれについて、どの程度同意しますか？

同性のカップルは、子供を養子にすることについて異性のカップルと同じ権利を持つべきである

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



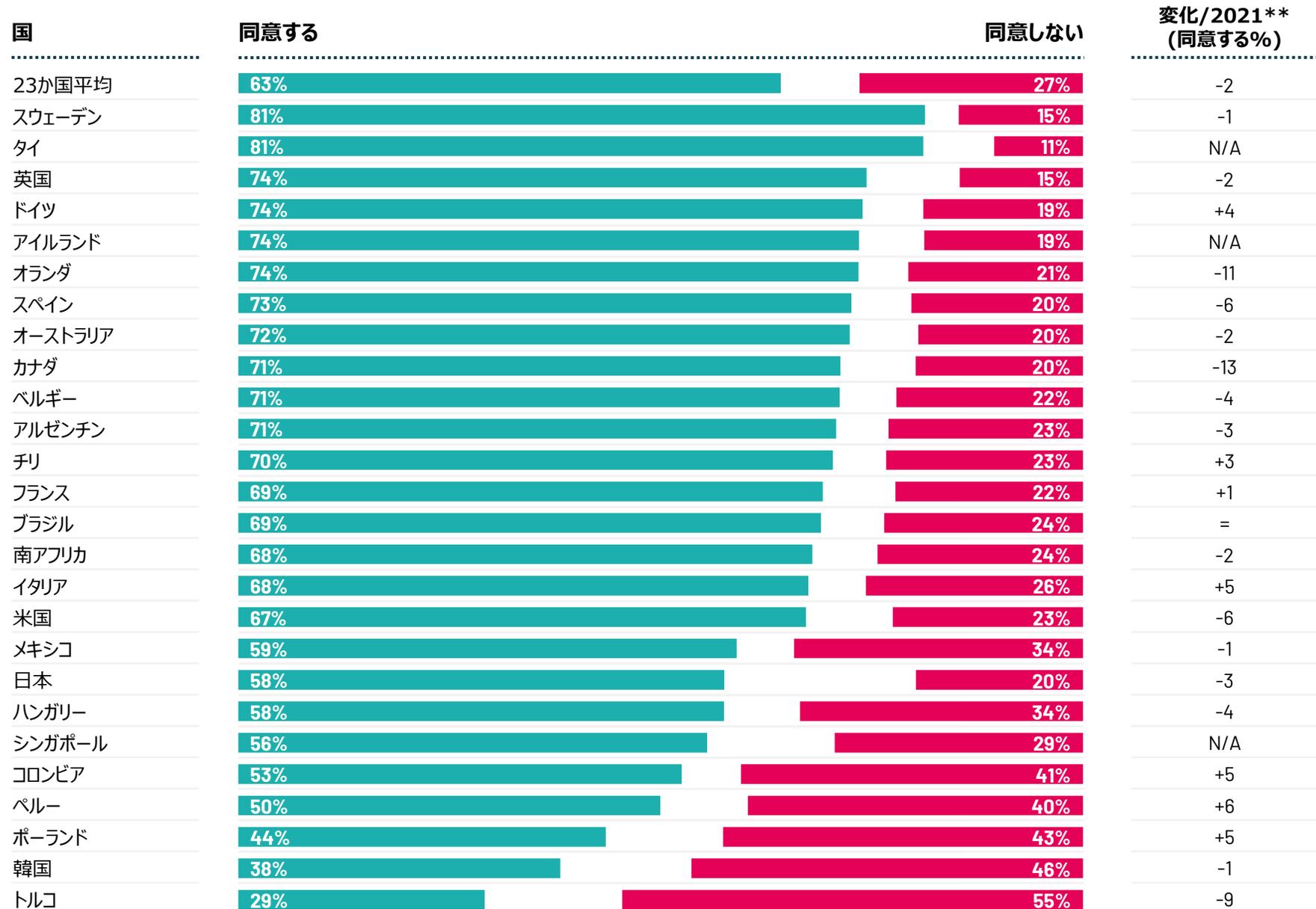
国別：同性カップルの子育てに関する意見

Q.同性のカップルに関する次のそれぞれについて、どの程度同意しますか？

同性のカップルは、他の親と全く同じように子供をうまく育てることができる

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



Z世代*に注目 : LGBTの権利 と保護に関する 意見

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの
21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515
人。2024年2月23日~3月8日に調査。

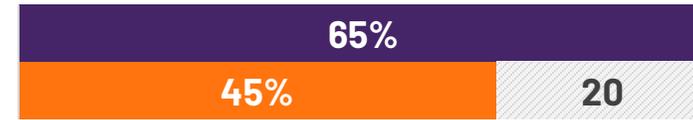
26か国平均（賛成する%）

Z世代の女性

Z世代の男性

ギャップ

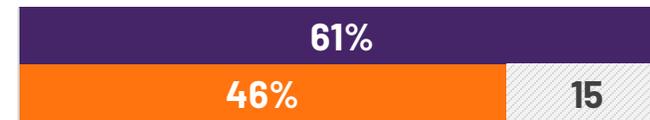
同性のカップルは、法的に結婚することを許可されるべきである



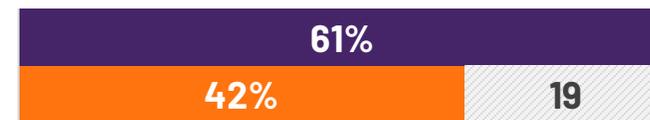
LGBTの人々が、性的指向や性同一性について誰にでも公表すること



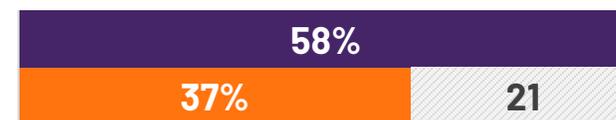
雇用、教育機会、住宅供給、社会サービスなどで、LGBTの人々に対する差別を法律で禁止すること



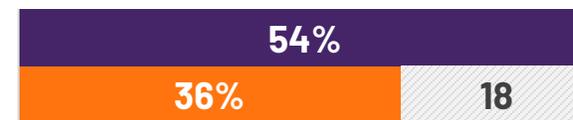
レズビアン、ゲイ、バイセクシャルであることを公表するアスリートがスポーツチームにいること



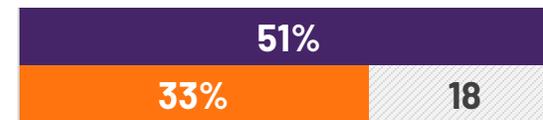
企業やブランドが、LGBTの人々の平等を積極的に推進すること



LGBTの人々が、人前で愛情を示すこと（キスや手をつなぐことなど）



テレビ、映画、広告で、LGBTキャラクターを増やすこと



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



Z世代*に注目 ：トランスジェンダーの権利と保護に関する意見

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

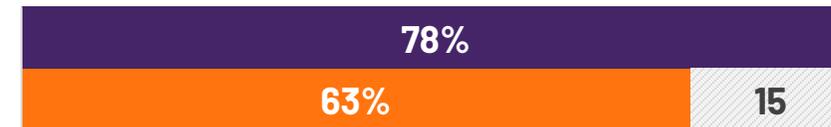
26か国平均（賛成する%）

Z世代の女性

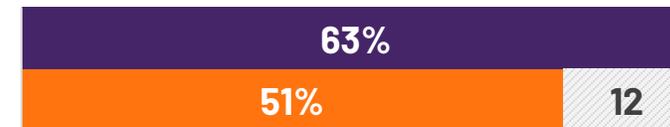
Z世代の男性

ギャップ

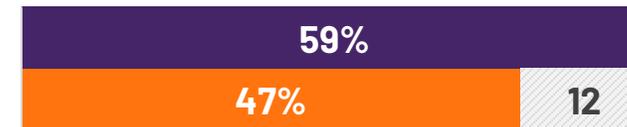
トランスジェンダーの人は、雇用、住宅、レストランや店舗などの企業へのアクセスに関する差別から保護される必要がある



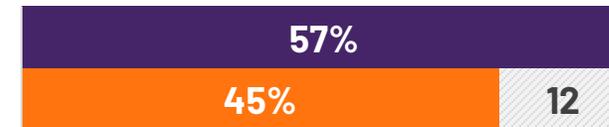
トランスジェンダーのティーンエイジャーは、保護者の同意の上で性適合のためのケア（カウンセリングやホルモン補充療法など）を受けることを許可されるべきである



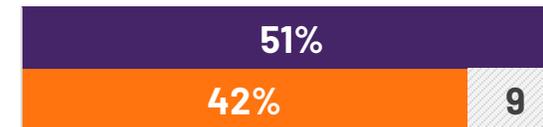
トランスジェンダーの人は、自認した性別に対応した男女別の施設（例：公共トイレ）を使用することを許可されるべきである



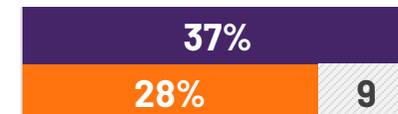
パスポートなどの政府発行の書類には、男女どちらの性も自認していない人のために「男性」と「女性」以外の選択肢を載せる必要がある



性転換にかかる費用は、健康保険制度で他の医療行為と同じように負担すべきである



トランスジェンダーのアスリートは、出生時に決定された性別ではなく、自分で認識している性別に基づいて競技すること



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



LGBT+の祝福と支援



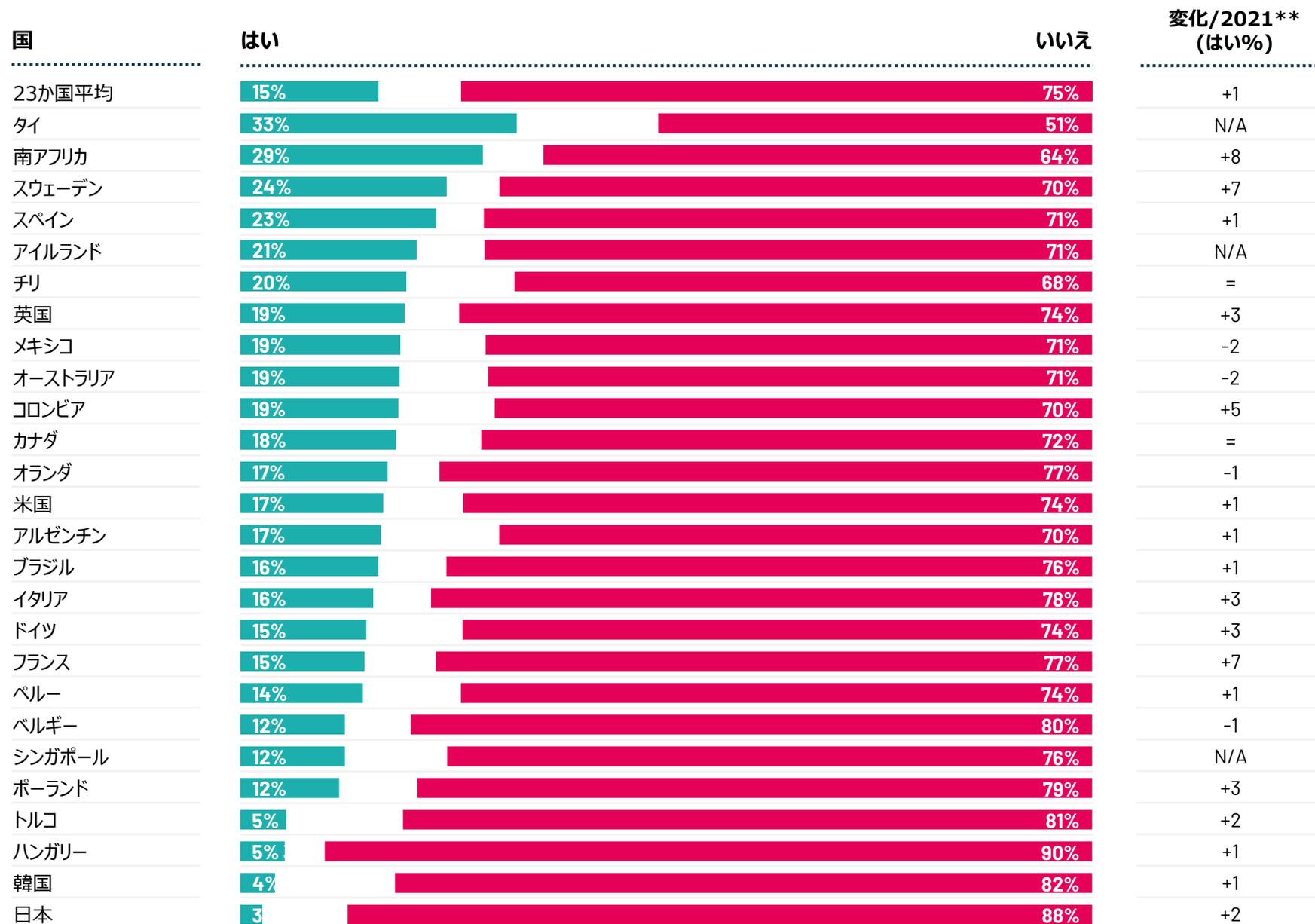
LGBTの祝福と支援

Q. 次のそれぞれについて、経験したことはありますか？

LGBTの人々を支援するための公開イベントに参加した（プライドマーチなど）

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



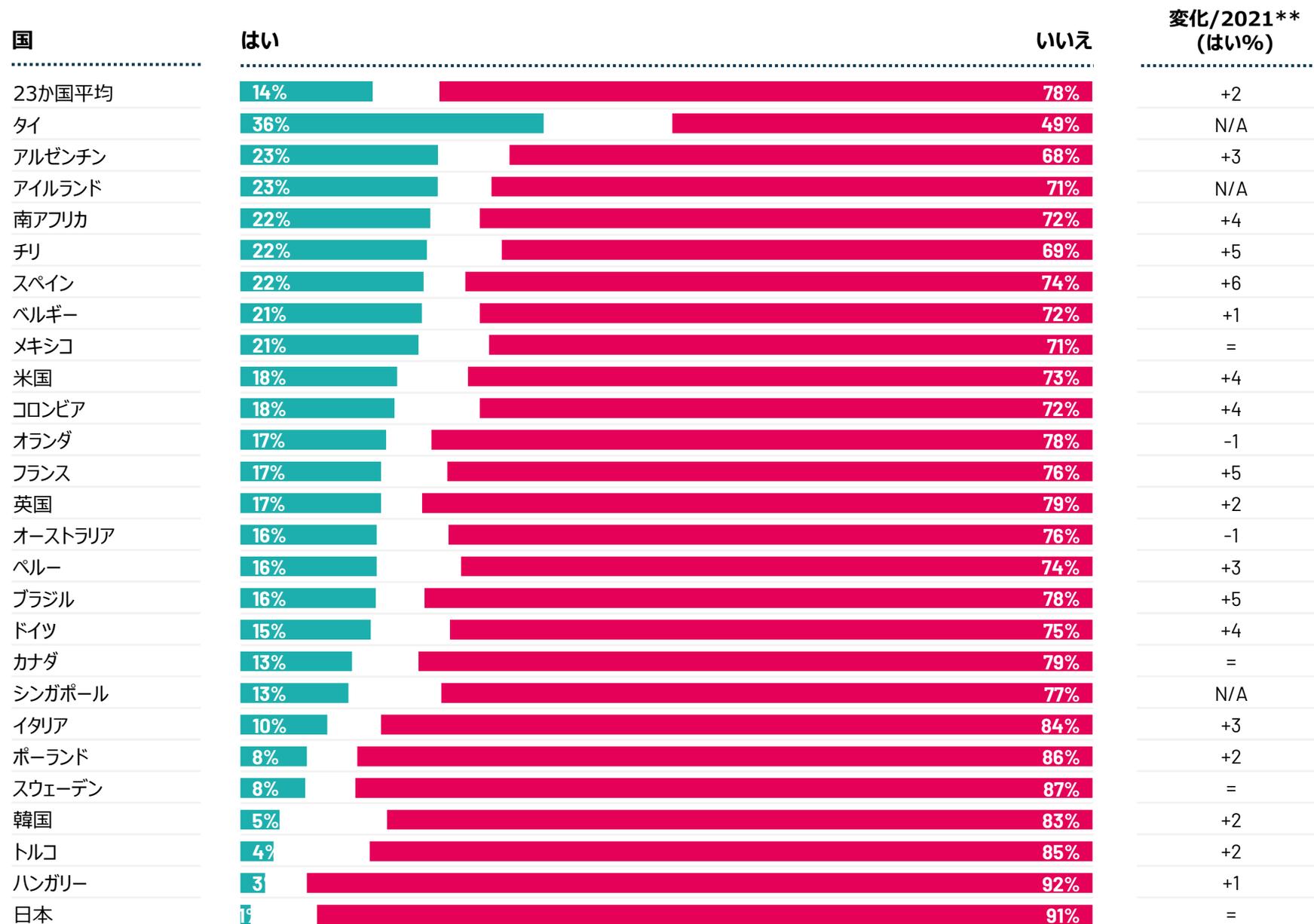
LGBTの祝福と支援

Q. 次のそれぞれについて、経験したことはありますか？

同性カップルの結婚式に出席した

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23カ国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23カ国で15,569人を対象に調査が行われた。



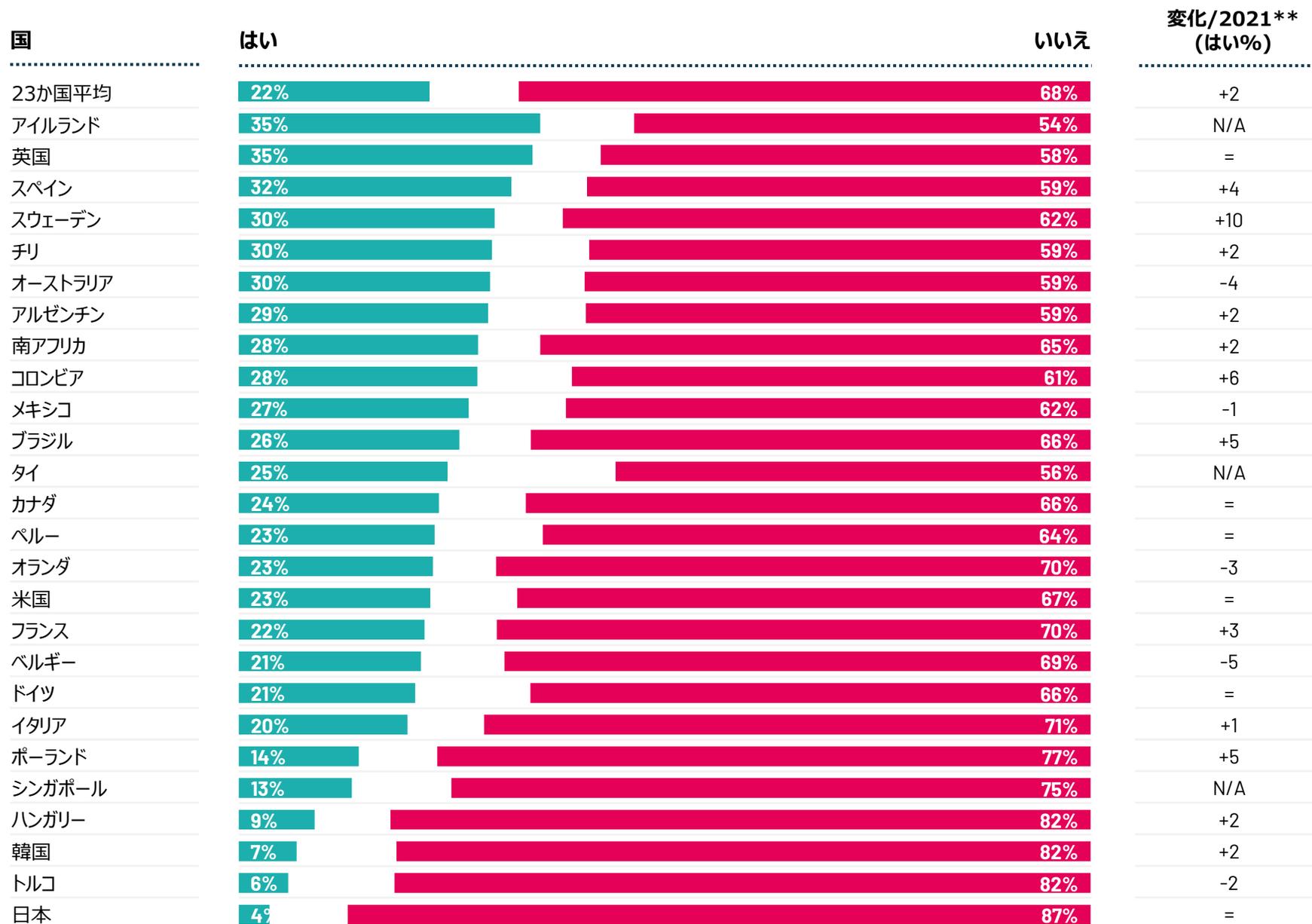
LGBTの祝福と支援

Q. 次のそれぞれについて、経験したことはありますか？

主にLGBTの人々向けのバーやナイトクラブを訪れた

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23か国で15,569人を対象に調査が行われた。



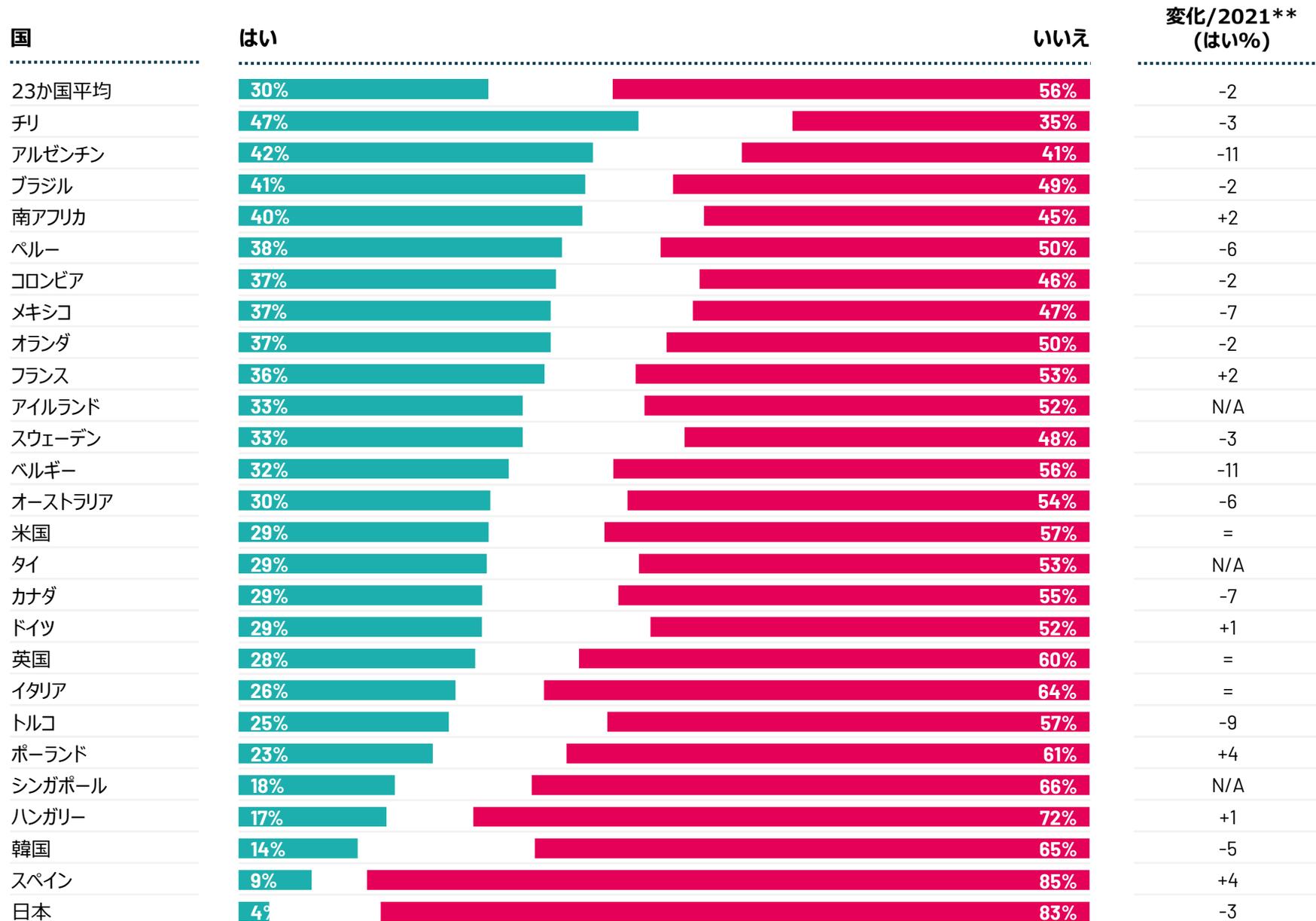
LGBTの支援

Q. 次のそれぞれについて、経験したことはありますか？

LGBTの人々に対する偏見を持っていた人を非難した

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

**23か国平均の変化は、2024年と2021年の両方の世論調査に参加した国に基づいている。2024年2月23日から3月8日までの間に16,015人を対象に調査が行われ、2021年4月23日から5月7日までの間に23か国で15,569人を対象に調査が行われた。

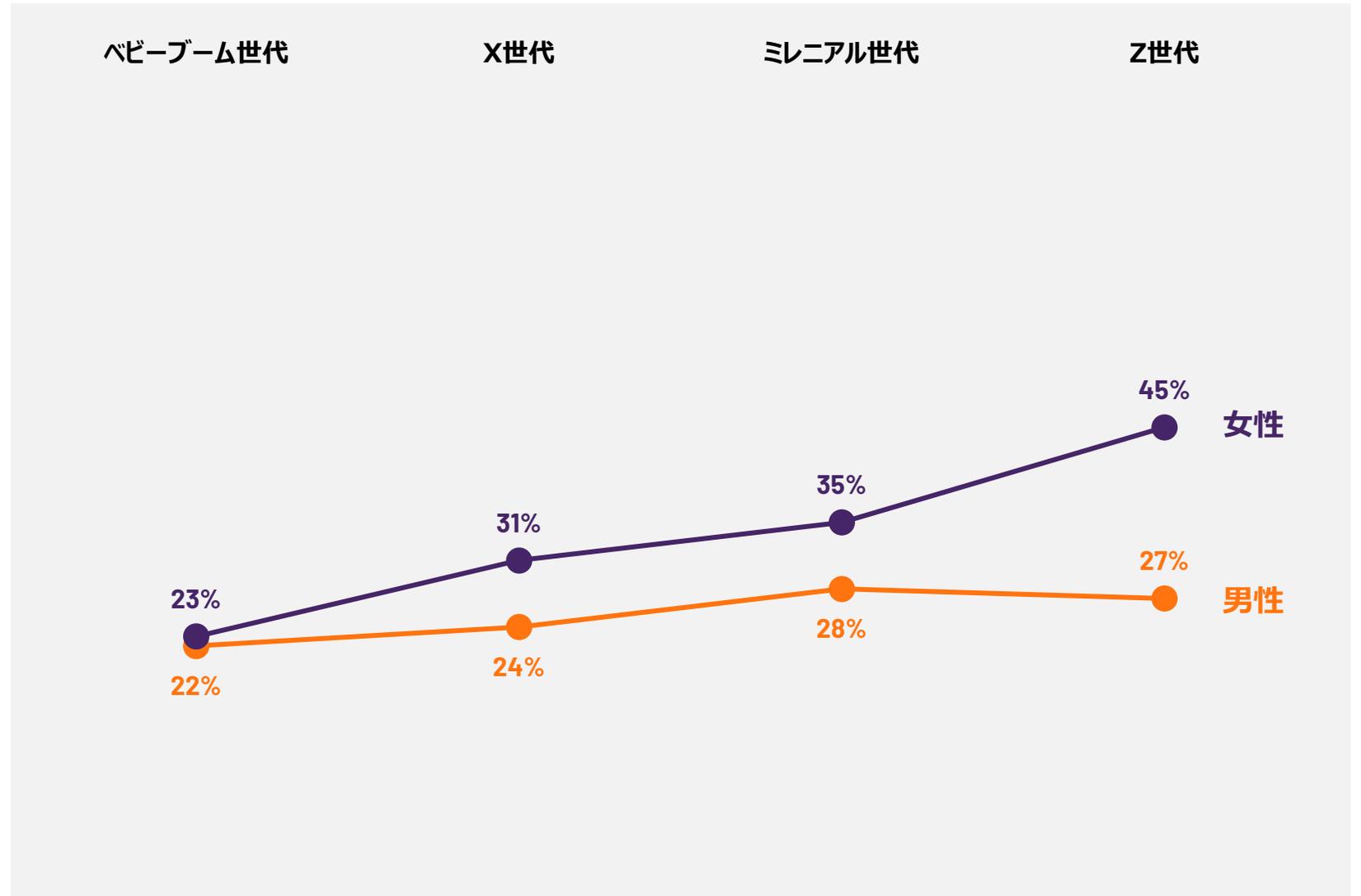


世代別： LGBT支援

Q. 次のそれぞれについて、経験したことはありますか？

LGBTの人々に対する偏見を
持っていた人を非難した
(はい%)

ベース: カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの
21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515
人。2024年2月23日~3月8日に調査。



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



性的指向と性自認



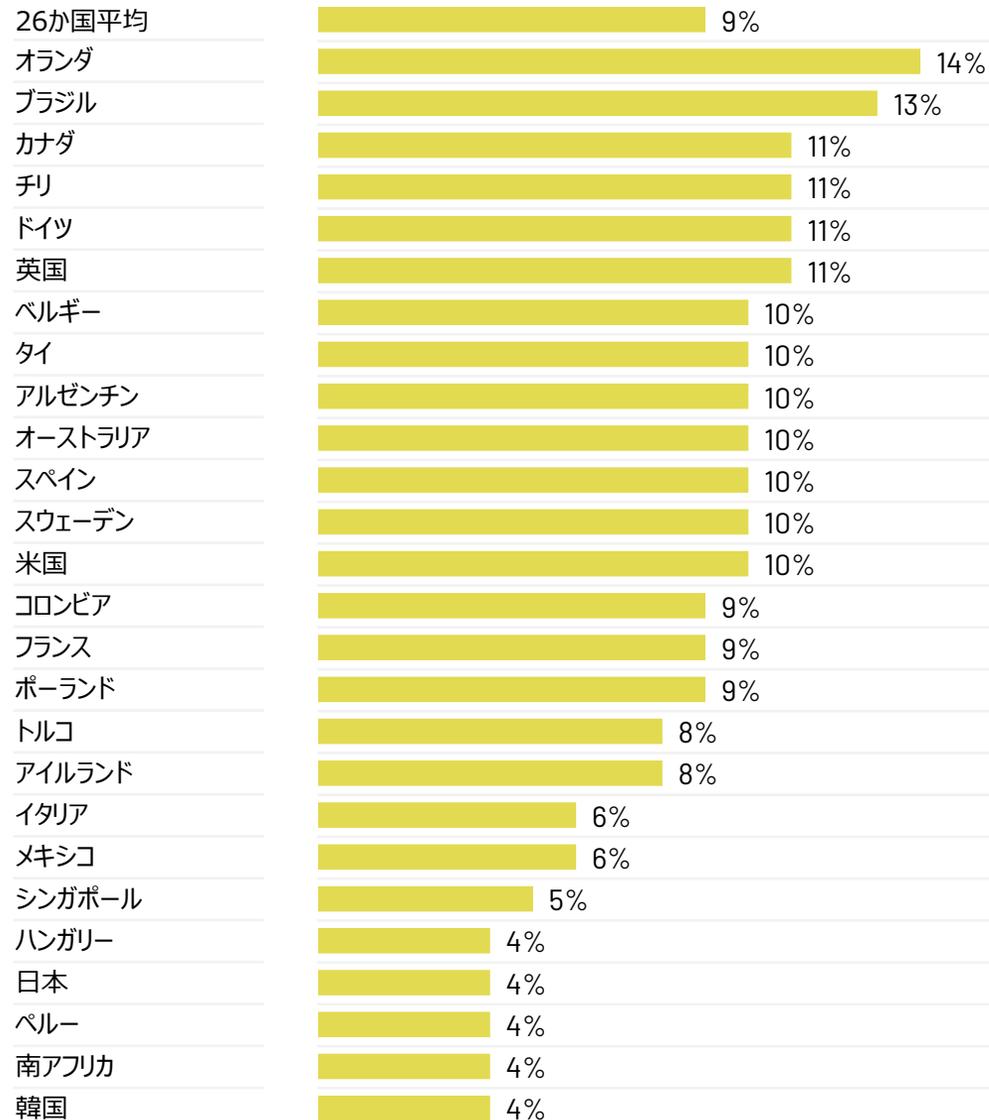
国別： 性的指向

Q.以下のカテゴリのうち、ご自身が自認しているものはありますか？

- ・ レズビアン/ゲイ/ホモセクシャル
- ・ バイセクシャル
- ・ パンセクシャル/オムニセクシャル
- ・ 無性愛者

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

国



世代別* : 性的指向

Q.以下のカテゴリのうち、ご自身が自認しているものはありますか？

- レズビアン/ゲイ/ホモセクシャル
- バイセクシャル
- パンセクシャル/オムニセクシャル
- 無性愛者

ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515人。2024年2月23日~3月8日に調査。

ベビーブーム世代

X世代

ミレニアル世代

Z世代



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



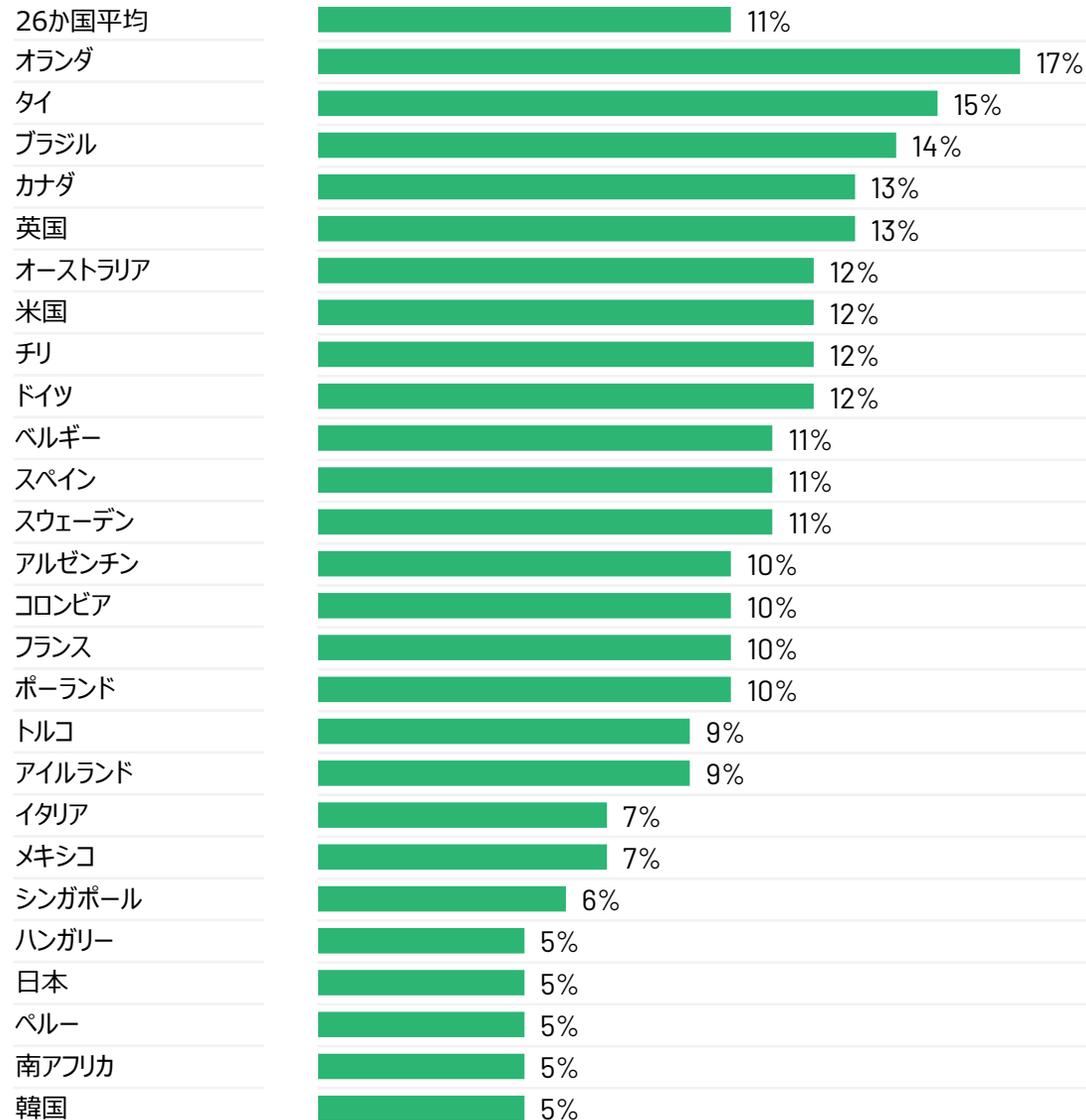
国別： LGBT+成人の 純割合

以下のいずれか：

- レズビアン/ゲイ/ホモセクシャル
- バイセクシャル
- パンセクシャル/オムニセクシャル
- 無性愛者
- トランスジェンダー
- ノンバイナリー/ジェンダーノンコン
フォーミング/ジェンダーフルイド
- 男性または女性以外

ベース：カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18～74歳、タイの20～74歳、シンガポールの
21～74歳、その他の国の16～74歳の成人18,515
人。2024年2月23日～3月8日に調査。

国



世代別* : LGBT+成人の 純割合

以下のいずれか :

- レズビアン/ゲイ/ホモセクシャル
- バイセクシャル
- パンセクシャル/オムニセクシャル
- 無性愛者
- トランスジェンダー
- ノンバイナリー/ジェンダーノンコン
フォーミング/ジェンダーフルイド
- 男性または女性以外

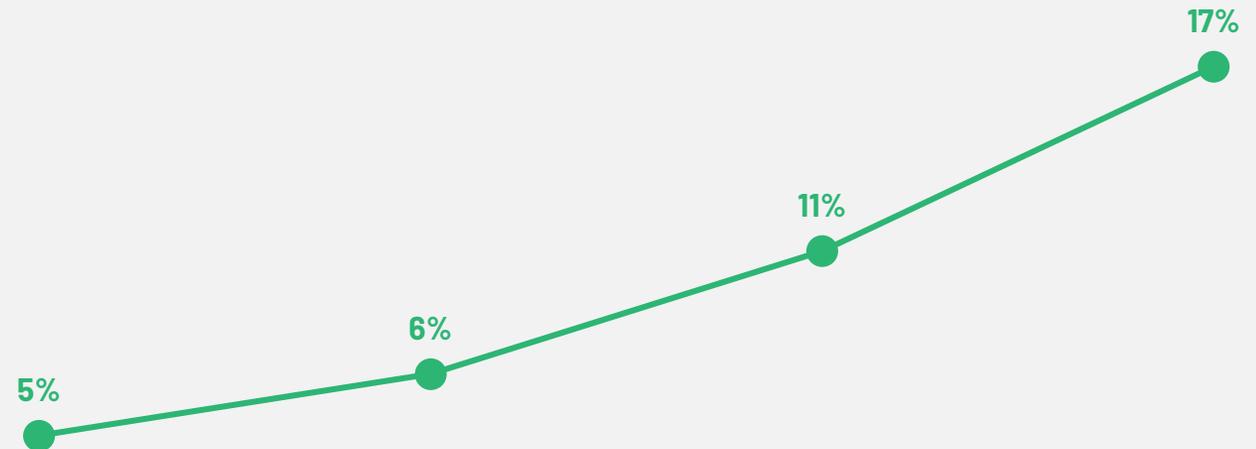
ベース:カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、
米国の18~74歳、タイの20~74歳、シンガポールの
21~74歳、その他の国の16~74歳の成人18,515
人。2024年2月23日~3月8日に調査。

ベビーブーム世代

X世代

ミレニアル世代

Z世代



*Z世代（1996-2012年生まれ）、ミレニアル世代（1980-1995年生まれ）、X世代（1966-1979年生まれ）、ベビーブーム世代（1945-1965年生まれ）



調查手法



調査手法

このレポートは、イプソスが2024年2月23日金曜日から3月8日金曜日まで、グローバルアドバイザーオンラインプラットフォームで26か国を対象に実施した調査の結果である。この調査では、カナダ、アイルランド共和国、南アフリカ、トルコ、米国の18～74歳、タイの20～74歳、シンガポールの21～74歳、その他の国では16～74歳の合計18,515人の成人にインタビューを行った。

サンプルは、オーストラリア、ブラジル、カナダ、フランス、ドイツ、英国、イタリア、日本、メキシコ、スペイン、米国からそれぞれ約1,000人、アルゼンチン、ベルギー、チリ、コロンビア、ハンガリー、アイルランド、オランダ、ペルー、ポーランド、シンガポール、南アフリカ、韓国、スウェーデン、タイ、トルコからそれぞれ約500人で構成されている。

アルゼンチン、オーストラリア、ベルギー、カナダ、フランス、ドイツ、英国、ハンガリー、イタリア、日本、オランダ、ポーランド、韓国、スペイン、スウェーデン、米国のサンプルは、75歳未満の一般成人人口の代表と見なすことができる。ブラジル、チリ、コロンビア、アイルランド、メキシコ、ペルー、シンガポール、南アフリカ、タイ、トルコのサンプルは、一般人口に比べて、より都市部に住み、教育水準が高く、裕福である。これらの市場の調査結果は、人口のうち、より「コネクテッド」な層の意見を反映していると言えるだろう。

データは、各国のサンプルの構成が最新の国勢調査データに基づく成人人口の人口統計プロファイルを最もよく反映するように重み付けされている。「世界各国平均」は、調査が実施されたすべての国と市場の平均結

果を反映している。各国または市場の人口規模に合わせて調整されておらず、総合的な結果を示すものではない。

パーセンテージの合計が100にならない場合、または「差」が実際の結果より ± 1 パーセントポイント多い/少ないように見える場合は、四捨五入、複数の回答、または「わからない」または回答を明記していない回答の除外が原因である可能性がある。

イプソスオンライン世論調査の精度は、信頼区間を使用して計算され、 $N=1,000$ の世論調査では ± 3.5 パーセントポイントの精度、 $N=500$ の世論調査では ± 5.0 パーセントポイントの精度となります。イプソスの信頼区間の使用に関する詳細は、イプソスのウェブサイト参照のこと。



詳細についてはこちらまでお問合せください。

Melissa Dunne

Senior Data Journalist

Ipsos Knowledge Centre

Melissa.Dunne@ipsos.com

